知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ

Far East Hokkaido Scenic Byway



ルート運営活動計画

令和４年９月

知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ　ルート運営代表者会議

― 目 次 －

第１章　ルートのエリアおよび概要 1

１．１．エリアの概要 1

１．２．地理的範囲およびルート 2

１．３．構成地域の概要 4

１．４．ルートの名称 5

１．５．ルートのテーマ、メインコンテンツとストーリー 6

第２章　ルートの課題 19

２．１．観光資源の磨き上げと受入体制の強化 19

２．２．地域間連携の強化 20

２．３．情報共有および情報発信の強化 20

第３章　ルートの活動理念・目標（目指す姿）・活動内容 21

３．１．ルートの活動理念 21

３．２．目標（目指す姿） 21

３．３．活動内容 22

３．４．今後の活動スケジュール 34

第４章　ルートの活動体制 35

４．１．ルートの活動団体 36

第５章　活動実績 44

５．１．活動実績一覧 44

５．２．活動実績概要 47

第１章 ルートのエリアおよび概要

１.１. エリアの概要

知床ねむろ北太平洋エリアは、現在日本人が行くことのできる、日本の本土最東端の地です。世界自然遺産の知床をはじめ、釧路湿原、厚岸湖・別寒辺牛湿原、霧多布湿原、風蓮湖・春国岱、野付半島・野付湾といった 5 つのラムサール条約湿地といった世界に認められた自然があり、野生動植物の宝庫でもあります。さらに、令和 3 年 3 月には「厚岸霧多布昆布森国定公園」が誕生するなど、国内においても他の地域にはない特有の景観などが評価されています。

当エリアでは、一万年前から途切れることなく人が暮らし続けた歴史を物語る日本最大の竪穴群（標津遺跡群）等が発掘されています。そこで出土した多量の鮭の骨は、毎年秋に鮭を求めて各地からこの地を訪れる人々の「道」の到着点であることを物語っています。また、アイヌの史跡である「チャシ跡」と共に、途切れることなく続く人々の営みと自然との長い共生の歴史があり、縄文文化からアイヌ文化と本州とは異なる時代区分の文化が育まれてきました。その独特な歴史、文化のストーリーが認められ、令和 2 年 6 月には「『鮭の聖地』の物語」として日本遺産に認定されました。

産業としては、水産業や酪農業が大変盛んな地域であり、豊かな海がもたらす新鮮で美味しい魚介類、広大な牧草地で育まれた乳牛からの上質なミルクやチーズなどの乳製品があります。

それらを有する当ルートは、国道 44 号、国道 243 号、国道 244 号、国道 272 号、国道 334 号、国道 335 号や北太平洋シーサイドラインを中心としてさまざまな魅力あふれる道が通っており、オホーツク地域や阿寒・摩周国立公園などとも隣接しているため、広域観光としての広がりも期待されます。

羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町で構成される当ルートでは、フットパスやネイチャーガイド、NPO 法人等の関係団体が、あふれる自然の保全や景観を生かした観光事業など積極的に取り組んでいますが、今後はシーニックバイウェイの制度のもと「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」をさらに推進していきます。



国道 334 号知床峠より、国後島を望む

１.２. 地理的範囲およびルート

■ルートの地理的範囲



当ルートは、日本の本土最東端に位置する、羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町で構成されており、エリアを縁取ると「野鳥の聖地」と言われる当地に相応しく、鳥のカタチが浮かび上がります。

ルートの構成地域と浮かび上がる鳥のシルエット

■メインルートおよび隣接（一部重複）するシーニックバイウェイルート



メインルートおよび隣接するシーニックバイウェイルート図

ルートアイコン	ルートコンセプト	メインルート
	Route 1 野生動植物に触れる	国道 244 号、国道 334 号、国道 335 号、 道道 950 号
	Route 2 最果てを巡る	国道 44 号、道道 35 号、道道 142 号
	Route 3 絶景を走る	道道 123 号、道道 142 号、道道 1039 号
	Route 4 自然と美食を味わう	国道 44 号、国道 391 号、道道 142 号、 道道 1128 号
	Route 5 フットパスを歩く	国道 44 号、国道 243 号、道道 8 号、 道道 69 号、道道 142 号、道道 1127 号
	Route 6 交通・鉄道遺産を巡る	国道 243 号、道道 13 号、道道 123 号、 道道 774 号、道道 808 号、道道 863 号、 道道 930 号、道道 1039 号

1.3. 構成地域の概要

地　域	概　要	構成ルート
	世界自然遺産「知床」を形成する町。目の前に広がる「魚の城下町」と言われるほど豊かな海は、シャチやクジラウォッチングの聖地。知床半島では、貴重な自然を体験するだけでなく温泉や海産物の食を満喫することができる。 人口：4,512 人　面積：397.72 ㎢	【主な道路】 国道 334 号、335 号、道道 87 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 羅臼湖トレッキングコース、 羅臼温泉園地歩道、 望郷の森タチニトレイル
	知床連山のふもとで知床半島と野付半島に抱かれるように広がっている町。漁業と酪農が盛んで広大な自然が広がることなどから「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、歴史的にも古くから人が住み遺跡も多く存在し、アイヌ文化の継承なども盛んである。 人口：4,925 人　面積：624.69 ㎢	【主な道路】 国道 244 号、335 号、道道 774 号、950 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 標津線跡フットパス、 ポー川史跡自然公園木道 【その他】 旧標津線
	開陽台から 330° 見渡せる地平線と格子状防風林。どこまでもまっすぐに続く道と雄大な酪農風景を存分に実感できる町。町の発展に大きな役割を果たした鉄道遺産をはじめ開拓の歴史も知ることができる。 人口：22,661 人　面積：684.87 ㎢	【主な道路】 国道 272 号、道道 8 号、774 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 上武佐フットパス、丸山公園 【その他】 旧標津線、殖民軌道跡
	生乳生産量日本一を誇る酪農王国であり、「格子状防風林」に囲まれる地平線まで広がる雄大な酪農風景がある。また、ラムサール条約湿地「野付半島・野付湾」など世界的にも貴重な自然に恵まれ、その海域では北海道遺産にも登録される「打瀬舟」によるホッカイシマエビ漁の光景も見ることができる。 人口：14,022 人　面積：1,319.63 ㎢	【主な道路】 国道 243 号、244 号、272 号、道道 8 号、123 号、363 号、364 号、475 号、930 号、950 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 別海町フットパス、野付半島木道 【その他】 旧標津線、別海村営軌道跡、奥行臼駅逓所
	太平洋とオホーツク海に面し、日本本土最東端に位置する。水揚げ日本一の「サンマ」や「花咲ガニ」など豊かな漁場を持つ。また、ラムサール条約に登録される「風蓮湖・春国岱」など自然も豊かで、野鳥の楽園としても知られている。 人口：23,492 人　面積：506.25 ㎢	【主な道路】 国道 44 号、243 号、道道 35 号、142 号、1123 号、1127 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 厚床パス、明郷パス、初田牛パス、別当賀パス、おちいし岬パス、浜松パス、春国岱木道、 東梅自然学習林 【その他】 花咲線、根室拓殖鉄道跡
	漁業・酪農業を中心とした町で、国内有数の生産量を誇る昆布や良質な牛乳などを生産している。特に牛乳は「ハーゲンダッツアイスクリーム」の原料に使用されるほど高品質。ラムサール条約や北海道遺産に登録される「霧多布湿原」は海岸段丘や森林を含む湿原景観を一望できる。 人口：5,365 人　面積：423.63 ㎢	【主な道路】 国道 44 号、道道 123 号、142 号、599 号、807 号、808 号、813 号、1039 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 ヤチボウズ木道、琵琶瀬木道、奥琵琶瀬木道、仲の浜木道、霧多布岬 【その他】 花咲線、浜中町営軌道跡
	ラムサール条約に登録される「厚岸湖・別寒辺牛湿原」があり、その周囲から流れこむ豊かな栄養により育まれる「カキ」は全国的に有名である。また、平成 28 年には厚岸蒸溜所でのウイスキーの蒸溜がはじまり、世界的にも注目され、新たな地域資源となっている。 人口：8,581 人　面積：739.27 ㎢	【主な道路】 国道 44 号、道道 14 号、123 号、221 号、813 号、1128 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 原生花園あやめヶ原、愛冠岬 【その他】 花咲線
	ラムサール条約に登録される「釧路湿原」と太平洋に囲まれた自然豊かな町。釧路湿原を一望できる細岡展望台や、変化に富んだ景観が続く太平洋沿岸など個性的な観光資源がある。 人口：18,975 人　面積：252.66 ㎢	【主な道路】 国道 44 号、391 号、道道 142 号、1128 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 細岡展望台、夢ヶ丘達古武遊歩道 釧路町森林公園、尻羽岬 【その他】 花咲線、釧網本線

※人口・面積のデータ：令和 4 年 3 月末

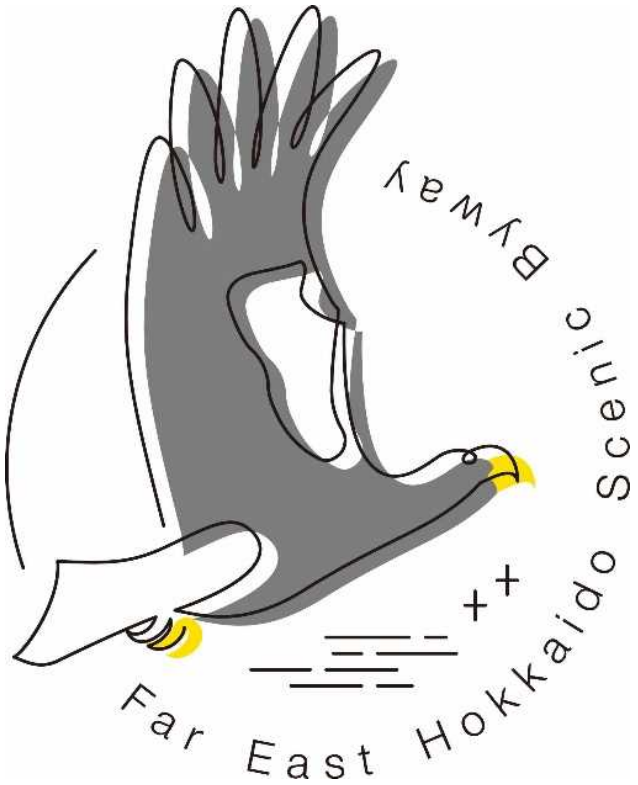
１.４. ルートの名称

知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ

Far East Hokkaido Scenic Byway

根室地域を表す「知床ねむろ」と釧路地域３町を象徴する「北太平洋シーサイドライン」を合わせたルート名称。英語名は「北海道の東の果ての美しい道」を端的に表現しました。

《ロゴマーク》



■デザイナー

菊地　芙美子　氏（チーズ工房チカプ：根室市）

■デザイン・コンセプト

・１市７町の地図のシルエットをベース
・シンボルは道東観光の魅力のひとつであるオオワシ
・「道をめぐる」というイメージを一筆書きで表現
・羽の模様部分は、当ルート最大の魅力であるフットパスを靴のシルエットで表現
・オオワシの下には湿地の地図記号を用いて湿原・海などの水を、またそこに反射する道東の美しい光を表現

1.5. ルートのテーマ、メインコンテンツとストーリー

■ルートのテーマ

～　世界中のトラベラーを癒す、
最果ての自然と美食の絶景海道　～

知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイは、日本の本土最東端にあり、世界自然遺産知床、5 つのラムサール条約湿地、欧米を彷彿とさせる自然景観など多くの魅力溢れる資源を有しています。また、水産業や酪農業が大変盛んな地域であり、豊かな海がもたらす新鮮で美味しい魚介類、広大な牧草地で育まれた乳牛からの上質なミルクやチーズなどの乳製品があります。近年ではウイスキーの蒸留所が操業を開始し、新たな地域文化を生んでいます。こうした特徴から、私達のルートテーマは「世界中のトラベラーを癒やす、最果ての自然と美食の絶景海道」としています。

■メインコンテンツ

コンテンツ１《世界に認められた自然》

世界自然遺産と 5 つのラムサール条約湿地など、最果ての地に凝縮された、世界が認めた他に類を見ない自然。世界中のバードウォッチャーが憧れるバードウォッチングの聖地。7 種類もの鯨類が大挙するホエールパラダイス。ヒグマは世界有数の生息密度を誇ります。

コンテンツ２《特有の地理的条件や気候が育む、古代より受け継がれてきた美食》

流氷や親潮・黒潮、多様な湿地が育む類い希なる水産資源を、先人の知恵や技術を受け継ぎながら、国内最高峰の評価を受けるまでに発展させた海の幸や、不屈の精神で開拓し、日本有数の酪農地帯となった根釧台地から生まれる質の高い乳製品は、味わう価値があります。

コンテンツ３《総延長１００ｋｍにおよぶ「歩く道」》

広い空。美味しい空気。田んぼも畑もない世界。広々した海岸線、根釧台地と多様な湿地が作り出す牧草地や湿原には、フットパスや散策路、木道などが 100km にもおよび整備されています。多様な環境に、これだけ長く整備されている「歩く道」は、他にはない魅力です。

コンテンツ４《一万年の時の流れの物語》

最初に人々が定住した縄文時代以降、絶えず暮らしが続き、オホーツク文化やトビニタイ文化といった独自の文化を形成しアイヌ文化へと流れていきます。海に面してつくられたチャシ跡から眺める景観からは一万年の物語を感じることができます。

コンテンツ５《根釧台地の開拓者魂と近代遺産》

古来より共生してきたありのまま残る原風景に、明治期からの開拓者による知恵と魂を受け継ぐ（語り継ぐ）ことのできる遺産や物語が共存する最果ての地。近代遺産や鉄道の廃線跡を巡り、今日に至る物語とともに五感で感じることができます。

ストーリー１《世界に認められた自然》の保全と活用



ラムサール条約湿地　風蓮湖・春国岱

当ルートには世界自然遺産の知床と 5 つのラムサール条約湿地（釧路湿原、厚岸湖・別寒辺牛湿原、霧多布湿原、風蓮湖・春国岱、野付半島・野付湾）といった、世界に認められた自然が残り、他の地域にはない独特の景観を生みだしています。また、厚岸霧多布昆布森国定公園は、海岸段丘や海食崖からなる特色ある海岸景観など貴重な自然を有し、内陸の根釧台地には山から海へとつながる蛇行する川の淵に広大な牧草地と原野があるなど、エリア全体に多様で特異な自然環境が広がっています。

このように自然環境が残っている当ルートは、野生動植物の宝庫でもあり、特に野鳥は、日本で見られる野鳥の 6 割を超える種類が確認され、バードウォッチングの聖地として知られています。外国人のバードウォッチャーに人気で北海道のビッグ 3 と呼ばれる、オオワシ、シマフクロウ、タンチョウが全て見られるのはこの地域だけです。

そのほか、シャチやクジラなど 7 種類もの鯨類、トドやアザラシ、ラッコなどの海獣類、ヒグマ、エゾシカ、キタキツネなどの動物、植物では日本では根室市の落石岬でしか見られないサカイツツジ、本州では亜高山帯から高山帯でしか見られないマイヅルソウやハクサンチドリなどが低地で見られるなど特異で希少な自然環境が広がっています。

当ルートでは、これらの恵まれた自然環境を維持するために、景観資源の調査や活動団体、行政との情報共有、ラムサール条約湿地での清掃活動などを行い環境保全に貢献するとともに、持続可能な形での観光資源として活用していきます。

◆自然・景観に係る地域資源の詳細



ストーリー2《特有の地理的条件や気候が育む、古代より受け継がれてきた美食》の活用



当ルートで連携し「ジモトナタビ 食で応援！キャンペーン」
の景品として開発した地元特産品詰め合わせ

当ルートには、古代より江戸時代に至るまで先住民族アイヌが自然と共生し、サケを中心とした豊かな水産資源の恵みを授かることで発展を遂げています。さらに流氷や親潮・黒潮が生み出す栄養豊かな海からの恵みは、ホタテやコンブ、ウニ、サンマや花咲ガニなど希少性の高い当地域ならではの水産資源を育んでいます。養殖技術についても確立しており、ウニやカキ、コンブなどの水産資源が安定して生産されます。

また、この地特有の頻繁に発生する海霧によりミネラル分を豊富に含んだ霧が、広大な根釧台地の牧草地に降りかかり、その牧草を食べて育った牛は極めて高い乳質を生み出します。高級アイスクリームとして世界に知られるハーゲンダッツの原料としても使用されるほどです。質の高い生乳から作られるチーズやソフトクリームなどの乳製品。これらを現地で食すことは「美味しいものを食べる」という旅の目的にもなります。

当地域は、前述のほか、エゾシカのジビエといった大地の恵みを味わうこともできます。さらに厚岸町では平成 28 年から厚岸蒸溜所でウイスキーの蒸溜が始まりジャパニーズウイスキーが生産され、世界的にも注目を浴びています。

当ルートでは、活動団体と水産業や酪農業、飲食事業者などが連携することにより、これら美食についての情報発信や、観光コンテンツとしての磨き上げを行うための情報共有、シーニックカフェや道の駅の活用などを行い、通年でのコンテンツ整備に繋げていきます。

◆食に係る地域資源の詳細



ストーリー3《総延長１００ｋｍにおよぶ「歩く道」》の保全と活用



広大な牧草地を歩き海岸の絶景と開拓の歴史をみる　別当賀パス

当ルートには、海岸線を歩くフットパス、酪農地帯を歩くフットパス、国鉄旧標津線をたどるフットパスや散策路、湿原や原生花園を歩く木道、岬を歩く遊歩道、世界自然遺産知床のトレッキングなど、当地ならではの長大な「歩く道」があります。

平成 27 年度から根室地域において、フットパスの活動団体や行政などが連携し、フットパスの整備と普及を中心とした地域振興に取り組んできましたが、更なる広域的な地域活性化を目指し、シーニックバイウェイの枠組みで広く連携し、清掃活動や草刈りなど継続的に維持管理を行うことで、いつ来てものんびり歩ける環境を提供します。

また、フットパスのほかネイチャークルーズなど、当地域にある他の観光資源と組み合わせた観光体験ツアー等、「また来たい」と感じてもらえるコンテンツやモデルコースの造成を目指します。

また、冬期においても、当地域特有のアクティビティである羅臼町の流氷クルーズや別海町の野付半島での氷平線ツアー、オオワシなどのバードウォッチング、スノーシュートレッキングといったさまざまなアクティビティについても、地域で連携して組み合わせた観光コンテンツの造成を行い、活用します。

◆観光「歩く道」に係る地域資源の詳細



ストーリー4　《一万年の時の流れの物語》の保全と活用



アイヌの人々の砦や祭祀の場所であった「チャシ」跡　ヲンネモトチャシ跡

当ルートには、古来より人々が共生してきた自然がありのままの姿で残る原風景と、縄文、続縄文文化からアイヌの人々の祖型の文化と考えられる擦文時代、オホーツク文化、トビニタイ文化、そしてアイヌ文化へと続く文化・伝統を受け継ぐ遺産や物語があります。

特にサケなどの豊かな水産資源に恵まれた根室海峡は、絶えず人々の暮らしが続き、江戸時代には先住民のアイヌ人とそのサケを求め北上してきた和人、資源を求め南下してきたロシア人との間で交流と衝突が繰り返されました。しかし、サケの質と量の豊かさから水産業が栄え、北海道の交易の中心となった当地では、根室の金刀比羅神社を筆頭に漁業の守護神を祀る文化が今も地域に根付いています。明治時代には北海道開拓使により、サケは缶詰などに加工されヨーロッパなど世界へとつながっていきました。

その独特な歴史、文化のストーリーが認められ、令和 2 年 6 月には「『鮭の聖地』の物語」として日本遺産に認定されています。

当地域に点在するチャシ跡は、アイヌの人々が聖地として、また砦として使用し、1789 年のアイヌ人と和人の戦いであるクナシリ・メナシの戦いとも関わりの深い大変貴重なものであり、その眼前に広がる景色や、標津遺跡群伊茶仁カリカリウス遺跡に代表される日本最大の竪穴群からは一万年に渡る先住民の生活の息吹を今も感じることができます。

◆歴史・文化に係る地域資源の詳細（一万年の時の流れの物語）



ストーリー５　《根釧台地の開拓者魂と近代遺産》の保全と活用



国登録有形文化財・近代産業遺産（明治公園のサイロ）

当ルートは、冷涼な気候により安定した農業を拒みつづけた根釧台地に広がっています。明治・大正以降には全国からの屯田兵や入植者による開拓が進み、一大産業へと成長していきました。特に内陸への進出には殖民軌道網（馬やガソリンカーが運行する簡易鉄道）や旧国鉄標津線が大きな役割を担いました。

不屈の精神で厳しい自然と向き合い広大な原野を切り拓いた開拓者の思いや、国の農業政策などにより高度成長期まで根釧台地の開拓が進められ、北海道遺産である格子状防風林や広大な牧草風景に象徴される現在の酪農景観が誕生しました。

そのほかにも、根室市明治公園にある三基のレンガ作りのサイロや中標津町の上武佐ハリストス正教会など、多くの近代遺産が開拓の歴史を今に伝えています。

また、第二次世界大戦後は北方領土におけるロシア（旧ソ連）との領土問題が生じ、隣接地域として、今日の共同経済活動の議論に至るまで交渉が継続しているなど、まだ終わらない戦後が存在しています。

◆開拓・近代遺産に係る地域資源の詳細　～開拓の礎－鉄道網の発展－～



◆開拓・近代遺産に係る地域資源の詳細　～近代開拓と産業遺産－～



◆開拓・近代遺産に係る地域資源の詳細　～まだ終わらない戦後－北方領土－～



第２章 ルートの課題

ルートのテーマである「世界中のトラベラーを癒す、最果ての自然と美食の絶景海道」と 5 つのストーリーを実現するためには、次の課題を解決する必要があります。

２.１. 観光資源の磨き上げと受入体制の強化

１） 観光資源の保全と磨き上げ

当地域は、他に類を見ない自然があり、観光に活用するためには、環境保全、景観を維持するための仕組みづくりが必要と考えています。そのため、自然を守るための教育、ガイドの育成、環境保全や整備に携わる人材の確保といったことが課題となっています。これらの課題に取り組むことにより、自然を観光資源として持続的な活用が可能となると共に、磨き上げにつながるものと考えています。

２） 受入体制の強化

当地域の観光客の特徴は、季節偏在が大きく夏季に集中していることから、通年で安定した誘客が必要です。特に冬期は、バードウォッチングや流氷、氷平線など魅力的な観光コンテンツがあるにも関わらず、エリア全体としては入込数が少ないことが課題となっていることから、二次交通の整備や閑散期を中心に、四季折々で楽しめる新たな観光資源の掘り起こしや魅力づくりが必要です。

また、宿泊施設のキャパシティが小さいため、観光入込客数に対する宿泊客の割合が全道平均に比べて低く、典型的な通過型の観光地となっていることから、長期滞在化や当地域のファンを醸成しリピーターをいかに増やすかが課題となります。

さらに当地域は、インバウンドの対応に係る受入環境が整っていない状況です。多言語対応ガイドやアクティビティはもちろんのこと、案内看板やパンフレット、レンタカーを利用する外国人旅行者向けの道路情報なども、多言語化がされていない情報が多く、外国人旅行者の必須条件となるキャッシュレス、洋式トイレ、Wi-Fi など、ソフト、ハード両面での整備が課題となっています。

２.２. 地域間連携の強化



「清掃月間」の活動のひとつ、
北方原生花園清掃活動

「美しい景観づくり」に重要な清掃活動には、活動団体だけではなく自治体や地域住民、企業や団体など、幅広い連携が不可欠です。

また、当ルートの大きな魅力である「美食」についてもより一層磨きをかけるためには、地域間や農林水産業など地場産業の団体・個人との連携をさらに深めていく必要があります。

さらに、当地域は高齢化や人口減少による担い手不足により、団体での活動の規模が縮小する傾向にあります。このような状況を解決するために、多様な活動団体が協力、連携して地域が一体となって活動を推進していくことが課題となっています。

２.３. 情報共有および情報発信の強化

当ルートは世界自然遺産、5 つのラムサール条約湿地など、世界が認める自然の宝庫であり、オオワシやヒグマ、シャチなど多様な野生動物と出会え、広大な酪農景観、知床半島や国後島の遠望など美しい風景が楽しめる地域です。また、人口密度は東京都の 1/290 と「究極のソーシャル・ディスタンス」が保てる地域という優位性がありますが、知床など一部の観光資源を除くと、情報発信が不足しているため、観光資源の認知度が低く、あまり知られていません。

今後は With コロナ、After コロナの旅行先として真っ先に選ばれるよう、当ルートの魅力を積極的に発信していくことが課題となっています。

第３章 ルートの活動理念・目標（目指す姿）・活動内容

３.１. ルートの活動理念

当ルートが継続的に活動を実施していくため、次の理念を定めました。

「当ルートはシーニックバイウェイの活動を通して、当地が有する世界レベルの自然、美食、産業や歴史・文化などを守り育てながら持続可能な利活用を行い、地域の活性化に貢献します。」

３.２. 目標（目指す姿）

COVID-19 流行前の当エリアの観光客入込数は、およそ 280 万人、インバウンド観光客ののべ宿泊数は、約 1 万泊で増加傾向を示していたものの、流行後の観光客入込数は、以前の約６割の 160 万人、インバウンド観光客ののべ宿泊数は、約 9 割 5 分減の 654 泊と激減しました。

しかし、このコロナ禍でマイクロツーリズムやパーソナルトラベル等に見られる旅行形態が生まれ、私たちは、今対応を求められています。変容する旅行形態やインバウンド観光客の激減などを踏まえた受け入れ体制や地域間連携、情報共有の強化、国内観光客向けの情報発信につながる取り組みを進め、これまでルート内の 1 市 7 町がほぼ単独で行っていた地域の情報発信を道で結ぶエリアとして一体感をもって発信することで活力ある地域づくりを目指さなくてはなりません。

そこで、インバウンド観光客の需要回復に備え、当地が有する世界レベルの自然、美食、産業や歴史・文化を、観光資源として SDGs を取り込みながら、地域が一体となってさらに磨き上げ、活用することで、全世界から観光客を受け入れることができる魅力ある観光空間づくりを目指します。

さらに、活動団体だけではなく自治体や地域住民、企業や団体などと幅広く連携し、清掃活動やフットパスの維持管理など、持続できる美しい景観づくりの仕組みの構築を目指します。

3.3. 活動内容

シーニックバイウェイの活動の柱である「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光空間づくり」を通じて、ルートの活動理念や目標（目指す姿）を達成するために、ルート内で連携して幅広い活動を展開していきます。

課題に対する目標（目指す姿）と活動内容

課題＼目指す姿		【美しい景観づくり】 地域の環境・景観を魅力的にする活動	【活力ある地域づくり】 地域資源を生かした連携や情報発信	【魅力ある観光空間づくり】 観光客の満足度を上げる地域資源の磨き上げ
観光資源の磨き上げと受け入れ体制強化	観光資源の保全と磨き上げ	●景観資源調査 ・ルートテーマの絶景資源の調査 ・調査後の保全、改善方法の提案 ●フットパスの整備と維持管理 ・総延長100kmにおよぶ「歩く道」の維持管理 ・新規フットパスの整備 ●ラムサール条約登録湿地での環境保全活動 ・希少動植物の調査活動 ・環境保全活動に係るモニタリング	●観光商品の開発と磨き上げ ・オリジナル商品の開発	●アウトドア勉強会の開催 ・アウトドアガイドセミナーの開催 ●冬の観光メニューの調査・開発 ・冬期観光コンテンツの調査・開発 ・アウトドアガイドや旅行会社との連携 ・インバウンド向け観光コンテンツの調査 ●観光商品の開発と磨き上げ ・6つのルートコンセプトの活用 ・オリジナル商品の開発
	受入体制の強化	●清掃活動 ・清掃月間に当ルート内での清掃活動	●地域づくりのためのセミナー開催 ・地域団体、住民などが参加できるセミナー内容の企画・実施	●ルート内資源での連携したツアー、イベントの開催 ・モニターツアーの開催 ●道の駅と連携した地域づくり ・連携事業（パネル展の開催等）の実施 ・サイクルポートのなどの設置
地域間連携の強化		●清掃活動 ・ゴミ拾いアプリ「ピリカ」の周知、活用 ・活動団体に呼びかけビューポイントでの清掃活動 ・道の駅での清掃活動	●フットパスの整備と維持管理 ・活動団体連携による維持管理活動 ・大学等との連携による維持管理活動	●冬の観光メニューの調査・開発 ・アウトドアガイドや旅行会社との連携 ●観光商品の開発と磨き上げ ・食などのコンテンツ開発のための連携 ●隣接ルートと連携した観光コンテンツ造成や磨き上げ、イベントの開催 ・サイクルツーリズムの充実
情報共有および情報発信の強化		●情報の発信 ・活動の情報を発信し、理解を広げる	●情報の一元化に向けた情報収集、整理 ・地域の魅力を一元的にみられるようなSNSやHPなどでの発信 ・地域の魅力を伝える写真展 ・ジモトナタビ（SNSでの）キャンペーン ●隣接ルートとの連携体制の構築 ・隣接ルートの活動情報を広域情報として発信	●情報の発信 ・地域の魅力を伝える写真展の開催 ・観光PRイベントへの出展 ●インバウンド向けの観光情報の整理、発信 ・多言語による情報発信 ・受入可能な観光施設ガイドの情報収集 ・ATWS2023、コロナ後に向けた情報発信

【美しい景観づくり】地域の環境・景観を魅力的にする活動

１） 観光資源の磨き上げと受け入れ態勢強化

１）-1 観光資源の保全と磨き上げ

■景観資源調査

当ルートの優れた景観を把握し、保全するため、また景観阻害物等の確認を行い、改善の実施や提案をすることによる良好な景観形成を目指すため、景観資源調査を行っていきます。

調査結果を踏まえて、清掃活動等の環境保全活動や地域連携による景観改善等の活動につなげていきます。

【これまでの取り組み】

令和 3 年度に地域、道路管理者等行政と協働で羅臼町を中心とする標津町、別海町での沿道景観調査を実施しました。今後は、調査結果を踏まえた保全活動等を実施します。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・景観調査未実施地域（中標津町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町）を中心とした景観資源調査の実施

・景観調査の結果取りまとめおよび保全活動、景観改善等の実施　　ほか

■フットパスの整備と維持・管理

当ルートの地理的範囲のすべての地域にフットパスコースや木道等の歩く道が整備されています。これまでも当地域の観光資源として保全、管理されてきましたが、ルートの活動として継続していきます。また、新たなフットパスの造成に向け、新規フットパスの整備を行っていきます。

【これまでの取り組み】

別海町の旧標津線フットパスにおいて、令和元年度に点検、令和 2 年度に草刈り等の整備を実施した。令和 4 年度は、羅臼町の海岸を歩く、フットパスの試行を実施し、新たなフットパスの可能性について、調査を実施した。

また、根室フットパスにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大防止ため中止している専修大学や釧路公立大学と連携したフットパス整備を継続する（平成 30 年度まで継続実施）。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・活動団体による新たなフットパスの整備を継続

・活動団体による既存フットパスの維持・管理の実施

・別海町、根室市以外のフットパスについての整備等課題の整理、整備体制の構築

※活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりともつながる活動

■ラムサール条約湿地での環境保全活動

ラムサール条約湿地において、木道維持管理や環境の変化を把握するために行われているアマモのモニタリングなどの環境教育に関わる活動を当ルートとしてサポートなどを実施します（SDGs の目標のひとつ「4 質の高い教育をみんなに」に該当）。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・令和 3 年に指定された「厚岸霧多布昆布森国定公園」に位置する霧多布湿原、別寒辺牛湿原に関する情報収集、木道維持管理等に係る連携の実施
・野付半島の国有林における国と連携した生息調査活動への協力
・ラムサール条約湿地での希少鳥類、渡り鳥モニタリング調査活動等への協力
・環境保全に係るモニタリング等の情報収集や連携の実施　　ほか

１）-2 受入態勢の強化

■清掃活動

日本離れした、類い希なる「最果ての絶景海道」の景観を維持するため、毎年 5 月を「清掃月間」とし、地域住民や各種団体、行政等と幅広く連携しながら、沿道、湿原、海岸等での清掃活動を実施します（SDGs の目標「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさも守ろう」に該当）。また、5 月のみではなく、駐車帯等の沿道での清掃活動を実施します。

【これまでの取り組み】

毎年 5 月を清掃月間として主に活動し、令和元年は、根室市の北方原生花園、海岸周辺、浜中町の霧多布湿原周辺、厚岸町の別寒辺牛湿原での清掃活動を実施しました。令和 2 年度、3 年度、4 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、根室市の北方原生花園のみで実施しました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・清掃月間の継続実施
・根室市、浜中町、厚岸町以外の地域を含めた新たな清掃活動の展開

２） 地域間連携の強化

■清掃活動

前述の毎年 5 月の「清掃月間」として活動を実施しますが、地域間連携の強化を目的とし、コロナ禍おいての三密を避けた清掃活動として地域が連携するため、ゴミ拾いアプリ「ピリカ」の周知、活用を実施します。

また、ビューポイントパーキングや道の駅など、既存の地域資源や施設での活動を強化し、地域間連携を図ります。

【これまでの取り組み】

コロナ禍での活動の停滞を改善するため、三密を避けて清掃活動を行うため、令和 3 年度、4 年度に、ゴミ拾い SNS アプリ「ピリカ」を活用したジモトナタビ×清掃活動を提案し、個別の清掃活動を展開しました。また、行政との連携として、「道の駅」クリーンアップ大作戦 2021 秋の陣及び 2022 春の陣（道の駅おだいとう）に参加し、清掃活動を実施しました。

令和 4 年度には、羅臼町のビューポイントパーキングでの清掃活動・剪定活動の現地確認を実施しました（10 月に活動実施予定）。また、釧路町の別保原野パーキングでの清掃活動を実施しました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・ビューポイントパーキング清掃活動の実施

羅臼町　峯浜パーキング（国道 335 号）

別海町　トドワラ駐車公園（道道 950 号　野付風蓮公園線）

・その他、メインルートでの清掃活動の実施

釧路町　別保原野パーキング（国道 44 号）

・ゴミ拾い SNS アプリ「ピリカ」の周知を図り、地域住民の取り組みにもなるよう展開

３） 情報共有および情報発信の強化

■情報の発信

当ルートで実施する景観資源調査、フットパスの整備と維持管理、清掃活動などについて、令和元年度に開設した WEB サイト、令和 2 年度に Facebook、Twitter、Instagram で情報発信を行い。活動の周知や参加の募集などを実施します。

【これまでの取り組み】

WEB サイトや SNS（Facebook、Twitter、Instagram）により、活動に際して、事前及び結果について情報発信しました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・WEB サイト、SNS を活用した情報発信の継続

【活力ある地域づくり】地域資源を生かした連携や情報発信

１） 観光資源の磨き上げと受け入れ態勢強化

１）-1 観光資源の保全と磨き上げ

■観光商品の開発と磨き上げ

当ルートの各地域において、海産品、乳製品、ジビエ、日本酒やウイスキーといった地酒など、この地域ならではの多様な商品があります。これらの商品を地元特産品の詰め合わせとして、商品開発し、ルートの活動である「ジモトナタビ　食べて応援！キャンペーン」の景品に活用して地域の特産品の PR を実施しました。

【これまでの取り組み】

令和 2 年度にコロナ禍における飲食店の応援、地元飲食店、おすすめ料理の再発見を目的として実施した「ジモトナタビ　食べて応援！キャンペーン」に際して、参加者への景品として、地元特産品の詰め合わせを商品開発しました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・当ルートの特産品の情報収集、整理およびオリジナル詰め合わせ商品の開発

１）-2 受入体制の強化

■地域づくりのためのセミナーの開催

当ルートには、フットパスをはじめとした観光資源が豊かですが、地域間連携が図られていない状況です。そのため、フットパス・ロングトレイル関係者が一堂に会し、フットパス・ロングトレイルの運営にあたり共通認識を持ち意見交換を行うとともに、関係者間の連携強化を図ることにより、今後の地域観光の振興を推進するため、行政と連携し「フットパス・ロングトレイル広域化検討会セミナー」などを年 1 回、開催します。

【これまでの取り組み】

アウトドアガイドや写真家等の専門家を招聘して、フットパス・ロングトレイル広域化検討会セミナーを毎年 1 回開催しました。

今後は、地域連携も図れる内容をセミナーのテーマとし、テーマにあう専門家の招聘、地域関係者が広く参加できる開催方法で、継続して開催していきます。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・行政などと連携したフットパスセミナーの開催

・フットパス・ロングトレイル関係者のみならず、他業種、地域住民等幅広い人に参加ができるようなテーマや開催方法で実施

２） 地域間連携の強化

■フットパスの整備と維持・管理

当ルートの地理的範囲のすべての地域にフットパスコースや木道等の歩く道が整備されています。これまでも当地域の観光資源として保全、管理されてきましたが、高齢化や人材不足等により、維持・管理が困難な地域があります。

そのため、地域間連携などにより持続可能な体制を構築し、整備、維持・管理を行っていきます。

【これまでの取り組み】

別海町の旧標津線フットパスにおいて、令和元年度に点検、令和 2 年度に草刈り等の整備を実施した。令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者募集を羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市に限定するなど、感染対策を行い、実施した。

また、根室フットパスにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大防止ため中止している専修大学や釧路公立大学と連携したフットパス整備を継続する（平成 30 年度まで継続実施）。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・活動団体および大学との連携による新たなフットパスの整備を継続
・活動団体および大学との連携による既存フットパスの維持・管理の実施
・別海町、根室市以外のフットパスについての整備等課題の整理、整備体制の構築
・持続可能な整備及び維持管理体制を構築することや活動団体と観光客などを結びつけることを目的とした「フットパス整備ボランティアツアー」等、商品化の企画、実施

※美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりともつながる活動

３） 情報共有および情報発信の強化

■情報の一元化に向けた情報収集、整理、発信

当ルートは東西南北に広く、地域間の情報が共有されていないといった課題があります。そこで、地域ごとにある個々の観光資源を情報収集、整理することにより、効率よく情報発信ができるよう一元化し、管理できるような仕組みを構築します。

また、ジモトナタビキャンペーンとして実施するフォトコンテント応募作品から新たに発掘された景観資源やグルメスポット等の情報を整理し、写真の活用等情報発信に活用します。

情報発信は、当ルートの WEB サイトや Facebook、Twitter、Instagram 等の SNS を活用し、旬な観光情報や道路情報等を発信するほか、ルート内で撮影された作品を展示する写真展等を開催し、地元の魅力を伝えます。

【これまでの取り組み】

令和 2 年度に当ルートのホームページ、SNS である Facebook、Twitter、Instagram を開設し、情報発信を実施した。

また、令和 2 年度にジモトナタビ応援キャンペーン　インスタグラム・フォトコンテスト、ジモトナタビ　食べて応援！キャンペーン（地元飲食店で食べたものをインスタグラムに投稿）を実施し、観光資源の情報収集、整理を行いました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・WEB サイト、SNS を活用した情報発信の継続

・新たなジモトナタビキャンペーン実施　　ほか

■隣接ルート（釧路湿原・阿寒・摩周 SBW、東オホーツク SBW）との連携体制の構築

当ルートに隣接して、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイと東オホーツクシーニックバイウェイの２つのルートがすでに活動されています。それら取り組みのなかで情報発信について参考にするとともに、当ルートの SNS を活用した情報発信や広報媒体において、隣接ルートの取り組みを入れるとともに、広域連携の視点も考慮して実施していきます。

【これまでの取り組み】

令和元年度に制作した当ルートの魅力を伝えるツールとなるガイドマップに、隣接ルートの名称や道の駅、観光スポットなども掲載しました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・SNS を活用した情報発信時に隣接ルートの情報などのシェアの実施

・当ルートの広報媒体には隣接ルートの情報掲載の実施

【魅力ある観光空間づくり】観光客の満足度を上げる地域資源の磨き上げ

１） 観光資源の磨き上げと受け入れ態勢強化

１）-1 観光資源の保全と磨き上げ

■アウトドア勉強会の開催

当ルートを訪れる人々が満足し何度も繰り返し訪れていただけるよう、アウトドアガイドや観光関係者を対象とした勉強会の開催もしくは支援し、観光の「質の向上」を図ります。

【これまでの取り組み】

令和 2 年度にアウトドアガイド　WEB 講演会（5 月）、セミナー（12 月）、令和 3 年度にアウトドアガイドセミナー（12 月）を開催しました。

今後は、継続した勉強会（セミナー）の実施や開催を協力します。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・アウトドアガイドセミナー開催　ほか

■冬の観光メニューの調査・開発

当ルートの地域は、個々に冬期の観光コンテンツがあるものの、まだ少ない状況である。活動団体やアウトドアガイド、旅行会社、交通事業者等との意見交換を通じて、さらなる冬期の観光コンテンツの調査を行うとともに、新たな観光商品の開発や観光商品の磨き上げにつながる情報を共有し、観光メニューの開発を行います。

【これまでの取り組み】

令和 2 年度に活動団体である知床ねむろ観光連盟や知床羅臼町観光協会、根室市観光協会で冬期コンテンツ（スノーシュートレッキング・氷下待網漁の見学など）の専門家によるモニターツアーを実施しました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・新たな冬期観光コンテンツの情報収集、モニターツアーの実施による商品化

・冬期観光コンテンツを組み合わせた冬期観光メニューの開発、ツアー実施

・冬期観光コンテンツを組み合わせた観光タクシーなどの二次交通の整備の実施　ほか

■観光商品の開発と磨き上げ

旅の目的となるような、当地域の魅力を伝える観光コースやコンテンツの提案、ここでしか手に入らない商品の開発、活用により、旅の満足度向上を図ります。

【これまでの取り組み】

令和元年度に地域の魅力を高めるため、地域ごとにある個々の観光素材をテーマ性の 6 つモデルルートを造成し、当ルートの魅力を伝えるツールとなるガイドマップを制作しました。

また、在日外国人や旅行会社を対象としたモニターツアーを実施し、地域の観光資源を見て、体験していただき、地域の観光関係者との意見交換会を実施しました。

今後は、ロゴマーク、ガイドマップの継続した活用と、モニターツアー結果を踏まえた商品開発やモニターツアーを実施します。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・6 つのドライブコースについて、周遊ドライブ・サイクルルート（Route 1）や周遊バスルート（Route 2）、広域観光ルートの Web マガジン取材記事（Route 3・5）、アドベンチャートラベルのカヌーのコンテンツ（Route 4）、地域団体と連携した鉄道とフットパス企画ツアー（Route 6）など、それぞれの特色を生かした情報発信や商品開発、磨き上げの実施

・ルート内の観光コンテンツの組み合わせによる観光メニューの造成、販売の実施

・通年で楽しむことができる観光コンテンツ造成、磨き上げの実施

・多言語化等インバウンドに対応した受け入れ体制の構築

・当ルートオリジナル商品の開発

・新たなジモトナタビキャンペーン実施　　ほか

１）-2 受入体制の強化

■ルート内資源で連携したツアー、イベントの開催

一元化した情報を活用し、ルート内の資源である産業遺産や酪農景観、フットパス等を組み合わせたツアーメニューを造成し、ツアーやイベントを開催します。

【これまでの取り組み】

令和元年度にルートの南側に位置する別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町の地域において、在日外国人や旅行会社を対象としたモニターツアーを実施し、地域の観光資源を見て、体験していただき、地域の観光関係者との意見交換会を実施しました。

今後は、当ルートでの未実施地域（羅臼町、標津町、中標津町）等でのモニターツアーの実施や、ツアーやイベントを開催するほか、人が集まる地域のイベント等への参加しルート活動の PR を実施していきます。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・モニターツアー開催による、活動団体や交通事業者と連携したツアー商品の造成

・PR キャンペーンやイベントの開催　　ほか

■道の駅と連携した地域づくり

当ルートにある 4 つの道の駅（知床・らうす、おだいとう、スワン 44 ねむろ、厚岸グルメパーク）で連携を図るため、「知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ道の駅連携協議会」を立ち上げました。キャンペーンやイベント等の連携事業を推進し、相乗効果による観光客の満足度や利便性向上を狙います。

【これまでの取り組み】

令和 2 年度は、ジモトナタビ応援キャンペーンの活動の中でルート内の道の駅 4 か所（知床・らうす、おだいとう、スワン 44 ねむろ、厚岸グルメパークでドライブ観光アンケートを実施し、観光客の特徴や目的を把握するとともに、地域の課題を整理しました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・連携事業（パネル展の開催、商品開発等）の実施

・道の駅や観光スポットでのサイクルポートなどの設置　　ほか

２） 地域間連携の強化

■冬の観光メニューの調査・開発（【再掲】活力ある地域づくり）

当ルートの地域は、個々に冬期の観光コンテンツがあるものの、まだ少ない状況である。活動団体やアウトドアガイド、旅行会社、交通事業者等との意見交換を通じて、さらなる冬期の観光コンテンツの調査を行うとともに、新たな観光商品の開発や観光商品の磨き上げにつながる情報を共有し、観光メニューの開発を行います。

【これまでの取り組み】

令和 2 年度に活動団体である知床ねむろ観光連盟や知床羅臼町観光協会、根室市観光協会で冬期コンテンツ（スノーシュートレッキング・氷下待網漁の見学など）の専門家によるモニターツアーを実施しました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・新たな冬期観光コンテンツの情報収集、モニターツアーの実施による商品化

・冬期観光コンテンツを組み合わせた冬期観光メニューの開発、ツアー実施

・冬期観光コンテンツを組み合わせた観光タクシーなどの二次交通の整備の実施　ほか

■観光商品の開発と磨き上げ

当ルートの旅の目的の一つとして、食があります。当ルートの各地域において、サケ、ウニ、コンブ、ホッカイシマエビ、サンマ、カキ、花咲ガニなどの海産物、牛乳やチーズなどの乳製品、エゾシカのジビエ、日本酒やウイスキーの地酒など、この地域ならではの多様な産品があります。これら地域資源を活用した農業体験や漁業体験など、地域産業を取り込んだコンテンツの造成のための連携を強化して、地域ブランドの価値向上を図ります。

【これまでの取り組み】

令和元年度に在日外国人や旅行会社を対象としたモニターツアーを実施し、地域の観光資源を見て、体験していただき、地域の観光関係者との意見交換会を実施しました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・漁業協同組合等と連携し、「美食」や「漁業体験」の観光コンテンツ造成
・活動団体等と連携したバターづくりなどの「農業体験」の観光コンテンツ造成
・食と根室の地酒、厚岸のウイスキーと組み合わせた観光コンテンツ造成　　ほか

■隣接ルートと連携した観光コンテンツ造成や磨き上げ、イベントの開催

隣接する釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイや東オホーツクシーニックバイウェイのルートや活動団体等が取り組んでいる観光コンテンツ造成や磨き上げ、イベントの開催などから、地域資源の磨き上げについて学び、連携を進めていきます。

サイクルツーリズム（ルートやスポットの整備など）に係る地域間連携及び当地域にあるフットパス等の既存資源と組み合わせた観光コンテンツの造成や磨き上げ、ツアーやイベントを開催します。

【これまでの取り組み】

令和 2 年度から「くしろ・ねむろ　ぐるっと！スタンプラリー」事務局主催の「くしろ・ねむろ　ぐるっと！スタンプラリー」に釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイと共催し、実施しました。

令和 4 年度に一般社団法人北海道開発技術センター主催の「知床半島・根室地域サイクルミーティング」に東オホーツシーニックバイウェイと共催し、パネリストとして参加しました。また、知床半島一周サイクリングの試走を実施しました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・「くしろ・ねむろ　ぐるっと！スタンプラリー」の継続
・当ルート内でのサイクルツーリズムの充実（サイクルスポット、モデルコースの作成　ほか）
・東オホーツクシーニックバイウェイサイクルガイドなどと連携し、サイクルイベントの実施
・隣接ルートと当ルートにまたがるサイクルルートの整備　　ほか

３） 情報共有および情報発信の強化

■情報の発信

ルート内で撮影された地域資源の写真やジモトナタビキャンペーンとして実施するフォトコンテント応募作品から新たに発掘された景観資源やグルメスポット等の情報を整理し、写真の活用等情報発信に活用します。

情報発信は、写真展の開催、観光 PR イベントへの出展・展示により、地元の魅力を伝えます。

【これまでの取り組み】

令和元年度に候補ルート登録を記念して、ルート内で撮影した写真を使用した写真展を実施しました。また、ねむろバードランドフェスティバルにおいて、ルートの PR 活動を実施しました。

令和 3 年度に、大阪で開催された日本観光ショーケースに出展し、ルートの PR を実施しました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

・WEB サイト、SNS を活用した情報発信の継続
・地域の魅力を伝える写真展の実施
・新たなジモトナタビキャンペーン実施　　ほか

■インバウンド向けの観光情報の整理、発信

根室地域ドライブ観光促進協議会や釧路・根室地域「道の駅」連携会議等と連携し、観光情報を外国人にとって興味を引く情報を整理し、多言語化するとともに、SNS を活用して海外へ発信するほか、道の駅の観光拠点化により旅ナカでの情報発信を行います。

【これまでの取り組み】

令和 2 年度に作成した 6 つのドライブコースのマップの英語版を作成し、令和 3 年度に当ルートの Web サイトに掲載しました。

《具体的な内容：令和 4 年度～》

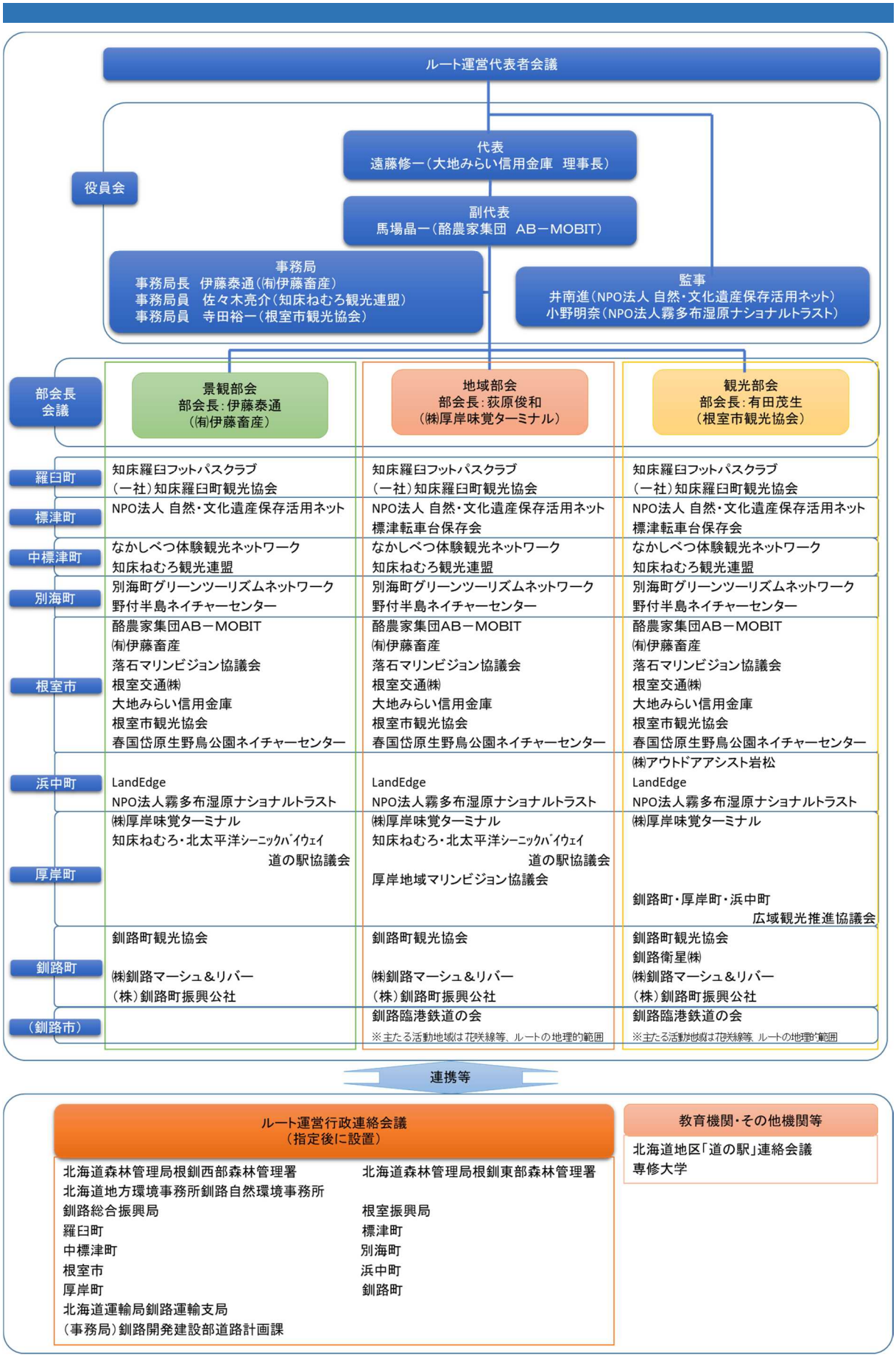
・インバウンド向け観光情報（受入可能な観光施設、ガイド等）の収集と整理の実施
・ATWS2023 やインバウンド需要回復に向けた一元的な情報発信サイトの構築
・道の駅等での多言語による情報発信　　ほか

3.4. 今後の活動スケジュール

令和４年度～令和７年度までの中長期計画を示す。

分類	活動内容	活動内容詳細	令和4年度 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	令和5年度 4月 7月 10月 12月	令和6～7年度
美しい景観づくり	景観地現調査	・ルートテーマの絶景資源の調査 ・調査後の保全、改善方法の提案	調査地域検討　実施　結果とりまとめ	未実施地域での調査実施	既実施地域の情報更新 景観資源マップ等の作成
	フットパスの整備と維持管理	・フットパス整備及び実施総延長100kmにおよぶ「歩く道」の維持管理 ・新規フットパスの整備	実施箇所検討　整備試行　整備試行	ツアー内容の改善、モニターツアーの継続	ツアーメニュー造成 継続したツアー実施 環境保全活動に係るPR
	ラムサール条約湿地での環境保全活動	・希少動植物の調査活動 ・環境保全活動に係るモニタリング	次年度の実施に向けた活動内容・方法等の検討	環境保全活動の実施	環境保全活動の継続 新規環境保全活動の検討 環境保全活動に係るPR
	清掃活動	・清掃月間に当ルート内での清掃活動 ・ゴミ拾いアプリ「ピリカ」の周知、活用 ・道の駅での清掃活動　等	準備　清掃月間・ピリカの活用　駐車帯・クリーンアップ大作戦	清掃活動の継続 新規地域での清掃活動検討	清掃活動の継続 清掃活動場所の検討継続、実施（状況に応じて、取捨選択し実施）
	情報の発信	・活動の情報を発信し、理解を広げる	適宜情報発信を実施	情報の発信継続	情報の発信継続
活力ある地域づくり	観光商品の開発と磨き上げ	・オリジナル商品の開発	次年度実施に向けたオリジナル商品の開発・検討	商品の開発	商品の開発継続・販売
	地域づくりのためのセミナーの開催	・地域団体、住民などが参加できるセミナー内容の企画・実施	準備　実施	セミナーの継続	セミナーの継続 地域の状況に即したセミナーテーマ、開催方法の検討
	フットパスの整備と維持管理	・活動団体連携による維持管理活動 ・大学等との連携による維持管理活動	実施箇所検討　整備試行	維持管理活動の継続	維持管理活動の継続 維持管理体制の見直し
	情報の一元化に向けた情報収集、整理、発信	・地域の魅力を一元的にみられるようなSNSやHPなどでの発信 ・地域の魅力を伝える写真展 ・ジモトナタビ（SNSでの）キャンペーン　等	情報収集・整理・発信　次年度実施に向けた写真展、ｲﾍﾞﾝﾄの企画	情報発信の継続 写真展、ｲﾍﾞﾝﾄの企画・実施	最新情報の収集・整理 情報発信の継続 ｲﾍﾞﾝﾄの企画・実施
	隣接ルートとの連携体制の構築	・隣接ルートの活動情報を広域情報として発信	情報収集・整理、適宜情報発信	情報発信の継続	情報発信の継続
魅力ある観光空間づくり	アウトドア勉強会の開催	・アウトドアガイドセミナーの開催	準備　実施	勉強会の継続	勉強会の継続 地域の状況に即した勉強会のテーマ、開催方法の検討
	冬の観光メニューの調査・開発	・冬期観光コンテンツの調査・開発 ・アウトドアガイドや旅行会社との連携 ・インバウンド向け観光コンテンツの調査	ツアー商品の検討　モニターツアー	ツアーメニュー造成 ツアー開催	ツアー商品開発 適時モニターツアーの検討・実施 ツアーの実施
	観光商品の開発と磨き上げ	・6つのルートコンセプトの活用 ・オリジナル商品の開発 ・食などのコンテンツ開発のための連携	PR検討・実施　次年度の実施に向けた観光コンテンツの造成	新たなモデルルート造成 PRの継続	地域の状況に応じた、観光コンテンツの再検討 PRの継続
	ルート内資源で連携したツアー、イベント開催	・モニターツアーの開催	次年度実施に向けたツアー内容検討	検討の継続 モニターツアーの開催	ツアーメニュー造成 適宜モニターツアーの検討・実施 ツアーの実施
	道の駅と連携した地域づくり	・連携事業（パネル展の開催等）の実施 ・サイクルポートなどの設置	次年度の実施に向けた連携内容検討	パネル展の実施 新規の連携内容検討	新規連携事業の展開 地域との連携を拡充検討、実施
	隣接ルートと連携した観光コンテンツ造成や磨き上げ、イベントの開催	・サイクルツーリズムの充実	サイクルミーティング実施　知床サイクリングの試行	情報収集・イベントの試行	イベントの開催 サイクルツーリズムの充実
	情報の発信	・地域の魅力を伝える写真展の開催 ・観光PRイベントへの出展	PRイベントの検討　イベントの開催	イベントの検討、開催の継続	新規の観光商品造成検討 多言語化、PRの実施
	インバウンド向けの観光情報の整理、発信	・多言語による情報発信 ・受入可能な観光ガイドの情報収集 ・ATWS2023、コロナ後に向けた情報発信	情報収集　情報発信	情報収集・発信の継続	新規の観光商品造成検討 多言語化、PRの実施
ルート全体	ルート運営代表者会議	総会年1回　＋　定期会議　＋　臨時会議	準備　総会　会議　審査委員視察　会議　会議	（継続）	
	部会長会議	年4回程度：活動内容の検討、部会間の連携検討、実施　等	会議　会議　会議　会議	（継続）	
	部会	年4回程度：活動内容の検討・実施　等	部会　部会　部会　部会	（継続）	

第４章 ルートの活動体制



４.１．ルートの活動団体

平成 27 年度より根室地域（根室振興局管内：羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市）において、広域で連携するため、シーニックバイウェイ候補ルートの前身となるフットパス・ロングトレイル広域化検討会（事務局：根室振興局）が設立され、活動を開始しました。

さらなる広域での連携や地域活性化を目指し、釧路地域（釧路総合振興局管内のうち、浜中町、厚岸町、釧路町）の 3 町を加えた１市７町の地域で活動する 27 の団体で構成しています。

◆活動団体一覧

No.	市町名	団体名	代表者	
			役職	氏名
1	羅臼町	知床羅臼フットパスクラブ	代　表	高島　譲二
2	羅臼町	（一社）知床羅臼町観光協会	会　長	大野　貴史
3	標津町	NPO 法人　自然・文化遺産保存活用ネット	代　表	井南　進
4	標津町	標津転車台保存会	会　長	篠田　静男
5	中標津町	なかしべつ体験観光ネットワーク	代　表	瀬波　秀人
6	中標津町	知床ねむろ観光連盟	会　長	松實　秀樹
7	別海町	別海町グリーンツーリズムネットワーク	代　表	押田　栄司
8	別海町	野付半島ネイチャーセンター	センター長	藤井　薫
9	根室市	酪農家集団ＡＢ－ＭＯＢＩＴ	代　表	馬場　晶一
10	根室市	（有）伊藤畜産	代表取締役	伊藤　泰通
11	根室市	落石マリンビジョン協議会	代　表	上野　陽三
12	根室市	根室交通（株）	代表取締役	岡野　将光
13	根室市	大地みらい信用金庫	理事長	遠藤　修一
14	根室市	根室市観光協会	会　長	岡野　将光
15	根室市	春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター	館　長	鵜飼　豪生
16	浜中町	（株）アウトドアアシスト岩松	代表取締役	岩松　邦英
17	浜中町	LandEdge	代　表	芦田　政雄
18	浜中町	NPO 法人霧多布湿原ナショナルトラスト	理事長	小川　浩子
19	厚岸町	（株）厚岸味覚ターミナル	取締役支配人	加藤　裕之
20	厚岸町	知床ねむろ・北太平洋ｼｰﾆｯｸﾊﾞｲｳｪｲ道の駅連携協議会	会　長	荻原　俊和
21	厚岸町	厚岸地域マリンビジョン協議会	会　長	若狭　靖
22	厚岸町	釧路町・厚岸町・浜中町広域観光推進協議会	会　長	若狭　靖
23	釧路町	釧路町観光協会	会　長	橋口　春樹
24	釧路町	釧路衛星（株）	代表取締役	斎藤　剛史
25	釧路町	（株）釧路マーシュ＆リバー	代表取締役	斉藤　松雄
26	釧路町	（株）釧路町振興公社	代表取締役	河野　俊一
27	釧路市	釧路臨港鉄道の会 ※主たる活動地域は花咲線等、ルートの地理的範囲	会　長	星　匠

◆活動団体の活動概要

<table>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">羅臼町</td><td>知床羅臼フットパスクラブ</td><td>設　立</td><td>平成 30 年 6 月</td></tr>
<tr><td></td><td>代　表</td><td>高島　譲二</td></tr>
<tr><td colspan="4">羅臼町におけるフットパスコースの開発を目的として、設立した団体です。
平成 30 年に観光利用の新たな観光メニューとするため峯浜シーサイドフットパス開設し、観光資源としての管理を行っています。</td><td>  </td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2"></td><td>（一社）知床羅臼町観光協会</td><td>設　立</td><td>昭和 31 年 9 月</td></tr>
<tr><td></td><td>会　長</td><td>大野　貴史</td></tr>
<tr><td colspan="4">羅臼町内における観光情報の発信、ツアーの企画等を行っています。
主な活動事例としては、世界自然遺産、知床国立公園エリアの中にあり、熊越の滝トレッキングコースの管理を行い、安全なトレッキングコースを維持しており、登山口から 1 時間ほどでゴールの熊越の滝に到着することができます。</td><td>  </td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">標津町</td><td>NPO 法人
自然・文化遺産保存活用ネット</td><td>設　立</td><td>令和 3 年 11 月</td></tr>
<tr><td></td><td>代　表</td><td>井南　進</td></tr>
<tr><td colspan="4">地域の自然環境および歴史文化遺産の保全・再生するための団体として活動している。NPO 法人内にあるガイド部門（チプル・ガイド）が、標津町の自然と歴史を伝えるガイドとして活動しています。
（前身の標津町観光ガイド協会から継続した活動を行っています。）</td><td>  </td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2"></td><td>標津転車台保存会</td><td>設　立</td><td>平成 28 年 4 月</td></tr>
<tr><td></td><td>会　長</td><td>篠田　静男</td></tr>
<tr><td colspan="4">標津町にある蒸気機関車 C11-224 号機と旧国鉄根室標津駅跡転車台を保存し、鉄道遺産を通じて観光に貢献するために活動をしています。</td><td>  </td></tr>
</table>

5	中標津町	**なかしべつ体験観光ネットワーク**	設　立	平成 26 年 6 月
			代　表	瀬波　秀人
		旧標津線上武佐駅周辺は中標津町発祥の地であり、鉄路はその後の発展に大きく寄与した歴史的な地域です。かつての駅逓の建物や殖民軌道、ハリストス正教会など、開拓の歴史を偲ぶ機会を提供する活動としてツアー等のイベントを開催しています。  		
6		**知床ねむろ観光連盟**	設　立	昭和 45 年 8 月
			会　長	松實　秀樹
		知床ねむろエリアのまだ知られていない情報や魅力ある資源の情報発信を行っています。知床ねむろマガジンの運営を行っており、丁寧に取材し、読み物として興味をもってもらえる記事にしています。北海道の編集プロダクションの他、知床ねむろ地域に住むライターの輪を徐々に広げ、今後もより一層の充実した内容で情報発信していく予定です。 https://magazine.ekari.jp/ 		
7	別海町	**別海町グリーンツーリズム ネットワーク**	設　立	平成 16 年 3 月
			代　表	押田　栄司
		旧標津線フットパスの管理を行い行っているほか、フットパスツアーの企画、運営を行っています。 ツアーの際には、地域の高校やチーズ工房等と連携して、地元商品の販売や牛乳の無料配布等消費拡大を地域の発展に寄与することを考え企画しています。 		
8		**野付半島ネイチャーセンター**	設　立	平成 14 年 5 月
			センター長	藤井　薫
		日本最大の砂嘴である野付半島の自然や歴史についての情報を発信しています。初日の出鑑賞会 in 野付半島ネイチャーセンターの開催や、野付湾が結氷することで広がる氷の水平線を歩く氷平線ツアー等の各種ツアーの企画、運営を行っています。 		

9	根室市	**酪農家集団ＡＢ－ＭＯＢＩＴ**	設　立	平成 13 年
			代　表	馬場　晶一
		平成 22 年より専修大学・泉ゼミの夏合宿と連携しフットパスの整備を進めてきており、これは当団体だけなく地域の人たちとも関わりを持てる機会、活動として継続しています。初期は別当賀パスのルートの草刈りや観察小屋設置など既存ルートの整備、平成 27 年より学生が中心となり新たなルートのコース設定や看板の準備、イベントなど行い、「明郷パス」を開設しました。その後も更なるルートの開設を目指しています。  		
10		**（有）伊藤畜産**	設　立	平成 10 年 12 月
			代表取締役	伊藤　泰通
		明郷 伊藤☆牧場にて酪農体験だけでなく、レストラン・雑貨＆喫茶・キャンプ場・身近な家畜の動物園を運営し、この地域の観光要素のひとつとなっています。 シーニックカフェとしても登録しており、地域の情報発信拠点となっています。 		
11		**落石マリンビジョン協議会**	設　立	平成 18 年
			代　表	上野　陽三
		落石シーサイドウェイの 2 ルートのフットパスを（浜松パス、おちいし岬パス）を整備しています。 『おちいし・味まつり』の開催や落石ネイチャークルーズの運行もしており、地域の観光・地域振興や漁業振興のために活動しています。 		
12		**根室交通（株）**	設　立	昭和 26 年 2 月
			代表取締役	岡野　将光
		地域の交通としてだけではなく、観光タクシー、根室半島遊覧観光バス「のさっぷ号」の運行や花咲線＆フットパス連携イベントや清掃活動の実施・運営にかかわっています。 		

13	根室市	**大地みらい信用金庫**	設　立	大正 5 年 5 月
			理事長	遠藤　修一

　地域の金融機関としてだけではなく、地域を未来につなげるための活動を検討し、事業を行っています。
　活動の事例として、『地域が誇る歴史文化を何らかの形で残したい』との思いから、創立 100 周年の記念としてふるさとポケットガイドブックシリーズ」を継続して発刊しました。現在シリーズ 7 まで発刊しており、各テーマは以下のとおりです。
①根室 金刀比羅神社　②上武佐ハリストス正教会③　東北海道の古都、あっけし
④標茶 釧路集治監　⑤伊能忠敬の蝦夷地測量　野付半島幻の街キラク
⑥前田正名と釧路の製紙業　⑦北海の狩人 オホーツク文化

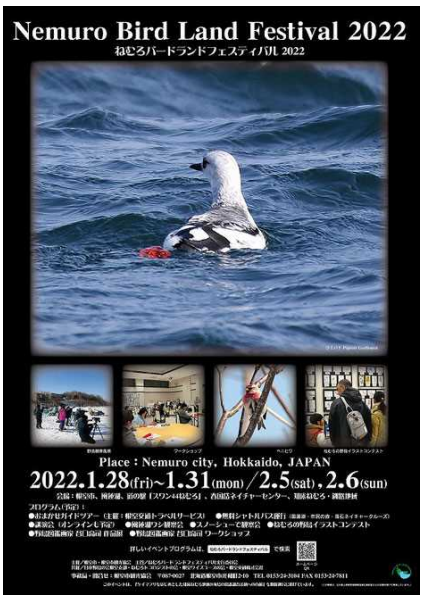






14		**根室市観光協会**	設　立	昭和 39 年
			会　長	岡野　将光

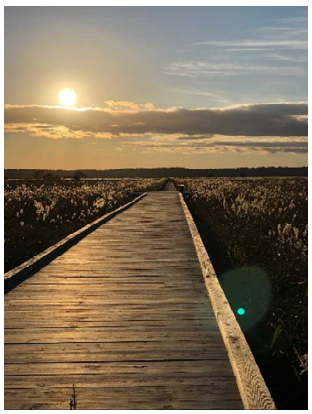
　根室市における観光情報の発信、ツアーの企画等を行っています。
　主な活動として、主催イベントである「ねむろバードランドフェスティバル」は、2008 年より根室市に於いて野鳥観光をテーマとして行っているイベントで、日本有数の野鳥観察地として国内外から注目を集める根室半島の希少鳥類の保護と豊かな自然の保全に貢献し、バードウォッチャーに交流の場や観察の機会を提供することで冬期の観光産業育成や受け入れ体制の整備に繋げ、また地域のホスピタリティの向上や経済効果に繋がる仕組みづくりに取り組んでいます。



15		**春国岱原生野鳥公園 ネイチャーセンター**	設　立	平成 7 年 4 月
			館　長	鵜飼　豪生

　野鳥をはじめとする野生動植物の宝庫である春国岱（しゅんくにたい）の自然環境保全と環境教育的活用のための施設です。
　ネイチャーセンターでは、レンジャー（自然専門職員）により、春国岱および周辺地域の自然環境の調査および利用者の方々へのさまざまなサービスを行っています。



16	浜中町	**（株）アウトドアアシスト岩松**	設　立	昭和 37 年
			代表取締役	岩松　邦英
		管内で捕獲されるエゾシカの肉および加工品の販売のほか、エゾシカ猟ガイドも行っています。		
17		**LandEdge（ランドエッジ）**	設　立	平成 28 年 6 月
			代　表	芦田　政雄
		豊かな森と湿原と海に囲まれた道東・浜中町でアウトドアガイドを運営しています。かつて馬や犬、熊たちが暮らした『ムツゴロウ動物王国』跡地を開拓し、太平洋を望む絶景と、大自然を遊び尽くす体験ツアーを提供しています。 		
18		**NPO 法人霧多布湿原ナショナルトラスト**	設　立	平成 12 年 1 月
			理事長	小川　浩子
		霧多布湿原の環境保全を主な活動としている団体です。 琵琶瀬木道・仲の浜木道・奥琵琶瀬木道・やちぼうず木道の 4 つの木道を整備しており、個人・団体観光客をガイド付きで案内するツアーを運営しています。 		
19	厚岸町	**（株）厚岸味覚ターミナル**	設　立	平成 5 年 6 月
			取締役支配人	加藤　裕之
		道の駅厚岸グルメパークを運営し、食文化研究、観光イベントの企画にも力を注ぎ新たな観光メニュー生み出しています。 また、専門の観光ガイドによるカヌー等のツアーも運営しています。 		
20		**知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ道の駅連携協議会**	設　立	令和 3 年 3 月
			会　長	荻原　俊和
		当ルートにある道の駅知床・らうす、おだいとう、スワン 44 根室、厚岸グルメパークによる連携事業拡大、地域観光の推進を目的として組織した団体です。キャンペーンやイベント等の連携事業を推進し、持ち回りで写真のパネル展等の情報発信や PR 活動を行う予定です。		

21	厚岸町	**厚岸地域マリンビジョン協議会**	設　立	平成 18 年 3 月
			会　長	若狭　靖
		厚岸湖や厚岸湾の水産資源保護や別寒辺牛川水系の環境保全を図ることを目的とした、植樹等の活動を行っています。また、地域の清掃活動のほか、平成 5 年に厚岸湖・別寒辺牛湿原がラムサール条約湿地となったことを契機に、湿原の清掃を毎年実施しています。		
22		**釧路町・厚岸町・浜中町 広域観光推進協議会**	設　立	昭和 57 年 4 月
			会　長	若狭　靖
		自然豊かな大地を有する釧路町・厚岸町・浜中町における観光の推進を目的とした協議会です。この 3 つの町の「自然」、「食」、「体験」などの魅力を発信しています。		
23	釧路町	**釧路町観光協会**	設　立	平成 2 年 6 月
			会　長	橋口　春樹
		釧路町の観光資源の調査、開発、保存を主な活動とし、広報活動や観光客の誘致、サービス向上を促進しています。 		
24		**釧路衛星（株）**	設　立	昭和 38 年 8 月
			代表取締役	斎藤　剛史
		観光・貸切バスの運行を行っています。野鳥観察に優れた運転スタッフがおり、この地域のバードウォッチング観光推進に貢献しています。 釧路町の魅力を発信するるーあの企画等を行っている。		
25		**（株）釧路マーシュ＆リバー**	設　立	平成 17 年 1 月
			代表取締役	斉藤　松雄
		釧路湿原、釧路川をフィールドに、オールシーズンのガイドツアーを運営しています。 大自然を満喫していただくのはもちろんのこと、安心してご参加いただける環境を整えることで、お客様との信頼関係を築き、再び足を運んでいただけるようなガイドをしたいと考えています。  		

<table>
<tr><td rowspan="2">26</td><td rowspan="2">釧路町</td><td colspan="2">（株）釧路町振興公社</td><td>設　立</td><td>平成 4 年 4 月</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>代表取締役</td><td>河野　俊一</td></tr>
<tr><td colspan="5">釧路町の公共施設の施設管理、観光イベントの PR・開催、地域産品の販売促進等を行っています。
   </td></tr>
<tr><td rowspan="2">27</td><td rowspan="2">（釧路市）</td><td colspan="2">釧路臨港鉄道の会</td><td>設　立</td><td>平成 15 年</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>会　長</td><td>星　匠</td></tr>
<tr><td colspan="5">釧路臨港鉄道の石炭列車運行予定の情報発信を目的として結成した団体です（現在廃線）。
鉄道ファン向けのイベントやグッズ制作販売等を行っており、花咲線等を含めて広域で連携した事業を行っています。

※所在地は、釧路市であるが、花咲線沿線等当ルートの地理的範囲で活動している活動団体です。
 
</td></tr>
</table>

第５章 活動実績

５.１. 活動実績一覧

シーニックバイウェイ北海道の候補ルートに向けて活動を開始した令和元（2019）年度から令和４（2022）年度までの活動を紹介します。

No.	年度	活動内容	分類				実施	
			景観	地域	観光	全体	単年度	継続
1	令和元	知床雪壁ウォークでの PR パネル展実施		●				●
2	令和元	「清掃月間」厚岸クリーン作戦	●					●
3	令和元	「清掃月間」北方原生花園清掃活動（根室市）	●					●
4	令和元	別海町グリーンツーリズムネットワークフットパス点検	●				●	
5	令和元	「清掃月間」シーサイドクリーン 2019（根室市）	●					●
6	令和元	「清掃月間」湿原クリーン作戦（浜中町）	●					●
7	令和元	フットパスツアー開催 花咲線絶景と開業１００周年駅と旧標津線を巡るツアー			●			●
8	令和元	フットパスツアー開催 わくわく花咲く！ふれあいレールフェス 2019			●			●
9	令和元	SBW 北海道候補ルート登録記念写真展			●		●	
10	令和元	フットパス・ロングトレイル広域化検討会セミナー（フットパスセミナー）		●				●
11	令和元	ねむろバードランドフェスティバル 2020 出展			●			●
12	令和元	オリジナル・ロゴマークの作成		●	（●）		●	
13	令和元	ガイドマップの作成		（●）	●		●	
14	令和元	ルート運営に関する各種会議等の開催				●		通年
15	令和2	「清掃月間」北方原生花園清掃活動（根室市）	●					●
16	令和2	アウトドアガイド勉強会・セミナー開催（オンライン）			●			● 2020～
17	令和2	アウトドアガイド勉強会・セミナー開催			●			●

No.	年度	活動内容	分類				実施	
			景観	地域	観光	全体	単年度	継続
18	令和2	ジモトナタビ提案・発表			●		●	
19	令和2	知床ねむろ・北太平洋 SBW 公式 SNS 開設		●				●
20	令和2	知床ねむろ・北太平洋 SBW 公式 HP 開設・運営		●				●
21	令和2	ジモトナタビ応援キャンペーン			●		●	
22	令和2	別海町グリーンツーリズムネットワーク フットパス整備	●					● 2020～
23	令和2	オリジナル・エコバッグ、ボトルの開発・ 販売			●			●
24	令和2	外国人モニターツアー開催			●		●	
25	令和2	フットパスツアー開催 旧標津線を巡る秋のフットパスツアー			●			●
26	令和2	フットパスツアー開催 わくわく花咲く！ふれあいレールフェス 2020 花咲線開業百周年駅と絶景を巡ろう			●			●
27	令和2	フットパス・ロングトレイル 広域化検討会セミナー （フットパスセミナー）		●				●
28	令和2	ジモトナタビ 食べて応援！キャンペーン			●		●	
29	令和2	くしろ・ねむろ・ぐるっと！スタンプラリー （釧路湿原・阿寒・摩周 SBW との連携）			●			● 2020～
30	令和2	冬期コンテンツの専門家による モニターツアー			●		●	
31	令和2	ルート運営に関する各種会議の開催				●		通年
32	令和3	「清掃月間」北方原生花園清掃活動 （根室市）	●					●
33	令和3	ジモトナタビ＋ピリカ　清掃活動	●					●
34	令和3	景観調査（羅臼町、標津町、別海町）	●					●
35	令和3	くしろ・ねむろ・ぐるっと！スタンプラリー （釧路湿原・阿寒・摩周 SBW との連携）			●			●
36	令和3	フットパスツアー開催 奥行臼散策デー			●			●
37	令和3	釧路・根室地域『道の駅』クリーンアップ 大作戦 2021 秋の陣　参加	●					● 2021～
38	令和3	HP 更新：牛乳の消費拡大推進			●			●
39	令和3	HP 更新：英語表記追加 （インバウンド対応）			●			●

No.	年度	活動内容	分類				実施	
			景観	地域	観光	全体	単年度	継続
40	令和3	フットパスセミナーの開催		●				●
41	令和3	公益財団法人日本野鳥の会 「プチ北海道物産展」への協力		●			●	
42	令和3	第１回 日本観光ショーケース in 大阪・関西出展		●				●
43	令和3	ルート運営に関する各種会議の開催				●		通年
44	令和4	知床半島・根室地域 サイクルミーティング共催			●		●	
45	令和4	釧路・根室地域『道の駅』クリーンアップ 大作戦 2022 春の陣　参加	●					● 2021～
46	令和4	【清掃活動】ジモトナタビ＋ピリカ	●					● 2021～
47	令和4	くしろ・ねむろ・ぐるっと！スタンプラリー （釧路湿原・阿寒・摩周 SBW との連携）			●			●
48	令和4	「清掃月間」北方原生花園清掃活動 （根室市）	●					●
49	令和4	羅臼町　峯浜パーキング　清掃＆剪定活動 現地検討	●					
50	令和4	知床羅臼フットパスの試行	●					
51	令和4	JR 花咲線利用促進講演会の開催 観光する鉄道　花咲線		●			●	
52	令和4	フットパスでのマウンテンバイク活用の試行 別当賀フットパス			●		●	
53	令和4	釧路町　別保原野パーキング　清掃活動	●					●
54	令和4	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 景観診断参加（中標津エリア）	●				●	
55	令和4	花咲線 魅力発見！ちょっと寄り道旅キャンペーン、花咲線いっしょに寄り道旅 開催協力			●		●	
56	令和4	知床半島サイクリングの試走 （隣接ルートとの連携）			●		●	
57	令和4	ルート運営に関する各種会議の開催				●		通年

5.2. 活動実績概要

地域 No.1 2019 【情報の発信】
知床雪壁ウォークでのPRパネル展実施

実施内容　知床が世界遺産に登録されたのが2015年。翌年、2016年の春から開催されているイベント。冬期間通行止めとなる国道334号では3月に除雪が開始され、4月上旬の開通前の1日限定で知床雪壁ウォークが開催される。そのイベントへ参加し、道の駅知床・らうすとの連携により、パネル展を実施し、ルートのPRを実施した。

日　時　2019（平成31）年4月14日（日）
場　所　道の駅知床・らうす、国道344号
主　催　知床雪壁ウォーク実行委員会
参加活動団体　知床羅臼町観光協会
酪農家集団　AB-MOBIT
伊藤畜産
厚岸味覚ターミナル
釧路町・厚岸町・浜中町広域観光推進協議会









景観 No.2 2019 【清掃活動】
「清掃月間」厚岸クリーン作戦

実施内容　厚岸町では、ラムサール条約湿地である別寒辺牛湿原の環境保全及び観光地の美化を目的とした清掃活動を毎年5月に継続して実施している。
当ルートでは、活動団体への周知を行うとともに、参加者を募り、参加した。

日　時　2019（令和1）年5月11日（土）
場　所　別寒辺牛湿原内（JR花咲線沿線）
主　催　厚岸町
厚岸町水質汚濁防止対策協議会
参加者数　211名
参加活動団体　厚岸味覚ターミナル









景観 No.3 2019 【清掃活動】「清掃月間」北方原生花園清掃活動

実施内容	根室市にある北方原生花園では、湿原、原生花園の環境保全及び観光地の美化を目的とした清掃活動を観光シーズン入り直前の毎年5月に継続して実施している。 清掃活動は、整備されている木道や駐車帯、沿道において実施し、根室地域でみられる馬の放牧地の景観保全にもなっている。 当ルートでは、活動団体への周知を行うとともに、参加者を募り、参加した。
日　　時	2019（令和1）年5月12日（日）
場　　所	北方原生花園、道道35号沿道
主　　催	根室市観光協会
参加者数	30名
参加活動団体	根室交通 根室市観光協会





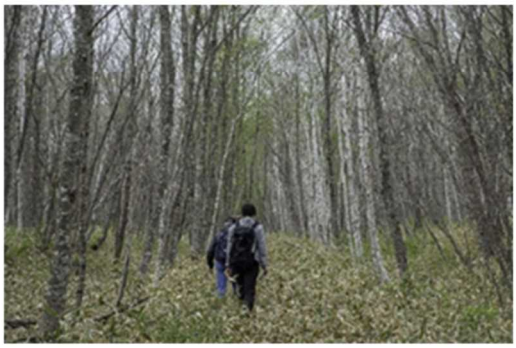




景観 No.4 2019 【フットパスの整備と維持管理】別海町グリーンツーリズムネットワークフットパス点検

実施内容	別海町にある旧標津線跡フットパス（全長12km）の奥行臼から別海町の「交流館ぷらと」までを徒歩で点検し、整備の必要な場所等について確認を行った。点検や整備は毎年、継続して実施している。 本活動は、フットパスツアーや奥行散策デー等のイベント開催のための準備としたの活動でもある。
日　　時	2019（令和1）年5月17日（金）
場　　所	別海町（旧標津線フットパス）
主　　催	別海町グリーンツーリズムネットワーク
参加者数	4名
参加活動団体	別海町グリーンツーリズムネットワーク 酪農家集団　AB-MOBIT





景観 No.5 2019 【清掃活動】「清掃月間」シーサイドクリーン2019

実施内容	根室半島南側に位置する海岸において、環境保全及び観光地の美化を目的とした清掃活動を観光シーズン入り直前の毎年5月に継続して実施している。 当ルートでは、活動団体への周知を行うとともに、参加者を募り、参加した。
日　　時	2019（令和1）年5月19日（日）
場　　所	根室市友知海岸～桂木海岸
主　　催	根室市
参加者数	440名
参加活動団体	酪農家集団　AB-MOBIT 落石マリンビジョン協議会 根室交通 大地みらい信用金庫 根室市観光協会









景観 No.6 2019 【清掃活動】「清掃月間」湿原クリーン作戦

実施内容	浜中町では、ラムサール条約湿地である霧多布湿原の環境保全及び観光地の美化を目的とした清掃活動を毎年5月に継続して実施している。 当ルートでは、活動団体への周知を行うとともに、参加者を募り、参加した。
日　　時	2019（令和1）年5月26日（日）
場　　所	霧多布湿原周辺 ・道道808号（MGロード）沿道 ・火散布方面 ・琵琶瀬展望台周辺 ・霧多布温泉ゆうゆ～アゼチの岬
主　　催	浜中町
参加者数	188名
参加活動団体	霧多布湿原ナショナルトラスト



観光 No.7 2019 【ルート内資源で連携したツアー、イベントの開催】フットパスツアーの開催

実施内容	当ルートにあるフットパスや資源を活用するほか、JR花咲線などをテーマに豊かな自然はもちろん、産業遺産や酪農景観等、ルート内の資源で連携したツアーやイベントの開催及び開催協力を実施した。
イベント名	花咲線絶景と開業100周年駅と旧標津線を巡るツアー
日　　時	2019（令和1）年10月12日（土）
場　　所	根室市、浜中町、中標津町、標津町
主　　催	花咲線を盛り上げる会
参加者数	26名
参加活動団体	別海町グリーンツーリズムネットワーク 酪農家集団　AB-MOBIT 根室交通 大地みらい信用金庫 根室市観光協会







観光 No.8 2019 【ルート内資源で連携したツアー、イベントの開催】フットパスツアーの開催

実施内容	フットパスや資源を活用するほか、JR花咲線などをテーマに講演会や自由散策をメニューに組み込んだツアーやイベントの開催及び開催協力を実施した。
イベント名	わくわく花咲く！ふれあいレールフェス2019
日　　時	2019（令和1）年10月13日（日）
場　　所	根室市、別海町
主　　催	夢空間☆花咲線の会
共　　催	酪農家集団AB-MOBIT なかしべつ体験観光ネットワーク 標津町観光ガイド協会 別海町グリーンツーリズムネットワーク 標津転車台保存会
参加者数	15名







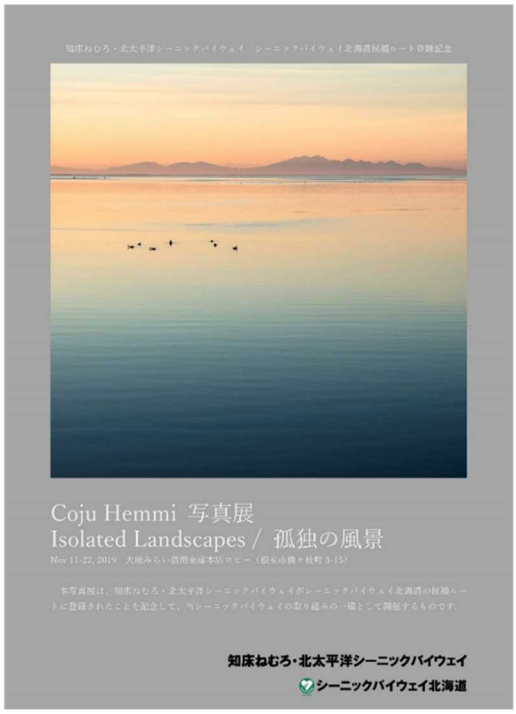
観光 No.9 2019 【情報の発信】SBW北海道候補ルート登録記念写真展

実施内容	候補ルート登録を記念して、ルートの地域である1市7町で撮影した写真を使用した写真展を開催した。
イベント名	Coju Hemmi写真展 「Isolated Landscapes / 孤独の風景」
日　　時	2019（令和1）年10月12日（土）
場　　所	大地みらい信用金庫本店
主　　催	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ









地域 No.10 2019 【地域づくりのためのセミナー開催】フットパス・ロングトレイル広域化検討会セミナー

実施内容	地域におけるフットパス・ロングトレイル関係者が一堂に会し、フットパス・ロングトレイルの運営にあたり共通認識を持ち意見交換を行うとともに、関係者間の連携強化を図ることにより、今後の地域観光の振興を推進するため、北海道根室振興局と連携し、「フットパス・ロングトレイル広域化検討会セミナー」を年1回、開催している。 令和1年度の開催では、講師に写真家の中西敏貴氏を招き、観光地の保全と利用に係る、美瑛町での新たな取組をテーマに講演いただいた。
日　　時	2019（令和1）年12月3日（月）
場　　所	中標津経済センター なかまっぷ多目的ホール
主　　催	根室振興局
協　　力	フットパス・ロングトレイル広域化検討会 知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
参加者数	34名
参加活動団体	知床羅臼フットパスクラブ、知床羅臼観光協会、標津町観光ガイド協会、標津転車台保存会、なかしべつ体験観光ネットワーク、別海町グリーンツーリズムネットワーク、西別海道を歩こう会、中春別SL散策路、酪農家集団　AB-MOBIT、伊藤畜産、落石マリンビジョン協議会、根室交通、大地みらい信用金庫、根室市観光協会、釧路臨港鉄道の会



観光 No.11 2019 【情報の発信】ねむろバードランドフェスティバル2020出展

実施内容　当ルートは野鳥の聖地と知られており、毎年1回、根室市内でねむろバードランドフェスティバルを開催されている。
バードランドフェスティバルに出展し、ルートをPRした。

日　　時　2020（令和2）年1月25日（土）～26日（日）

場　　所　ベルクラシック根室

主　　催　根室市
根室市観光協会

参加活動団体　根室交通
根室市観光協会
釧路町・厚岸町・浜中町広域観光推進協議会







地域 No.12 2019 【観光商品の開発と磨き上げ】オリジナル・ロゴマークの作成

実施内容　当ルートの魅力度を高めることを目的に、地域の特徴を表す、オリジナルロゴマークを作成した。ロゴに検討には、地域のデザイナーと連携し、検討を行った。
ロゴマークを活用し、ここに来ないと買えない等の魅力的な商品の開発につなげることを検討する。

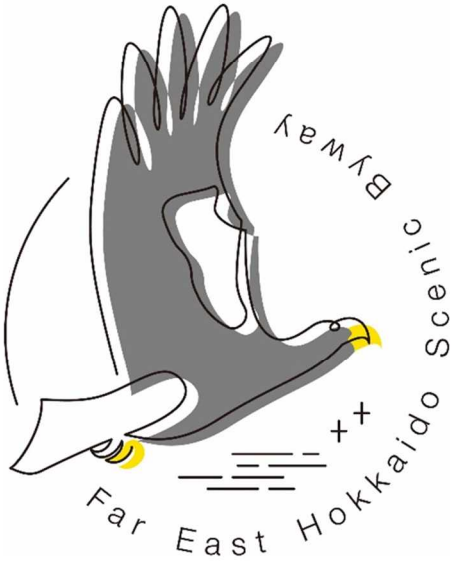
日　　時　2020（令和2）年3月

主　　催　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ

デザイナー　菊地　芙美子　氏（チーズ工房チカプ）



観光資源を表すサブアイコン



メインロゴマーク

観光 No.13 2019 【観光商品の開発と磨き上げ】ガイドマップの作成

実施内容	あまり知られていない当ルートの魅力をわかりやすく伝え、旅の目的地として観光客を呼び込むことを目的としたガイドマップを作成し、道の駅や観光協会等へ配布した。 作成については、複数回にわたり部会長会議を開催しながら、掲載する情報等についての議論を重ね、完成に至った。
日　　時	2020（令和2）年3月
主　　催	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
デザイナー	菊地　芙美子　氏（チーズ工房チカプ）



ガイドマップ



ガイドマップ（中面）

全体 No.14 2019 ルート運営に関する各種会議の開催

実施内容	ルート運営に関する各種会議等を開催した。
日　　時	2019（平成31）年4月3日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議 2019（令和元）年6月12日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議 2019（令和元）年9月18日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議 2020（令和2）年3月25日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議 （コロナ禍のため書面開催）
主　　催	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ



4月3日（別海町）



6月12日（別海町）



9月18日（別海町）

ルート運営代表者会議の様子

景観 No.15 2020 継続 【清掃活動】「清掃月間」北方原生花園清掃活動

実施内容	新型コロナウイルス感染拡大防止他のため、清掃活動が中止される中、対策を講じながら清掃活動を実施した。
日　　時	2020（令和2）年5月10日（日）
場　　所	北方原生花園、道道35号沿道
主　　催	根室市観光協会
参加者数	30名
参加活動団体	根室交通 根室市観光協会





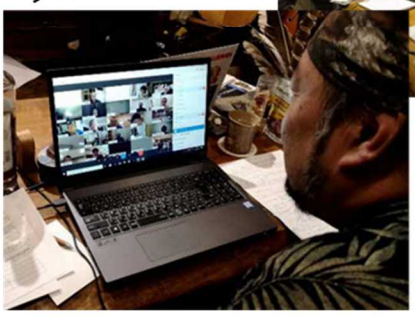




観光 No.16 2020 【アウトドア勉強会の開催】アウトドアガイド勉強会・セミナー開催（オンライン）

実施内容	アウトドアガイド勉強会・セミナーは、観光の「質の向上」を図るため、アウトドアガイド及び観光関係者の育成やレベルアップを目的としたアウトドアガイドセミナーの開催や支援を行っています。 アウトドア勉強会では、北海道知事認定マスターガイドの安藤誠氏を講師とし、『コロナは敵なのか」・・・プロガイドの危機管理～コロナ後の経営・身の振り方につながる大きな気づきとは～』と題して、講演いただいた。 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで実施しました。
日　　時	2020（令和2）年5月12日（火）
場　　所	オンライン
主　　催	大地みらい信用金庫
参加者数	50名
参加活動団体	別海町グリーンツーリズムネットワーク 中春別SL散策路 酪農家集団　AB-MOBIT 伊藤畜産 根室市観光協会





観光 No.17 2020 【アウトドア勉強会の開催】アウトドアガイド勉強会・セミナー開催

実施内容	アウトドアガイドセミナーでは、北海道知事認定マスターガイドの安藤誠氏を講師とし、「ビジネスにつながるアウトドアガイドのあり方」と題して、講演いただいたほか、「プロガイドとアマチュアガイドの違い」をテーマにフィールドワークを行った。
日　　時	2020（令和2）年12月7日（月）
場　　所	中標津経済センターなかまっぷ 道立ゆめの森公園
主　　催	大地みらい信用金庫 大地みらい基金 北海道根室振興局
協　　力	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
参加者数	50名







観光 No.18 2020 【観光商品開発と磨き上げ】ジモトナタビ提案・発表

実施内容	新型コロナウイルス感染症による、人の移動等が制限される中、「withコロナ時代のドライブ観光」のあり方について根室振興協との連携により検討し、「地元 × 大人旅 = ジモトナタビ」を提案（報道発表）した。 あわせて実施する「地元 × 大人旅 = ジモトナタビ」応援するキャンペーンについても報道発表を行った。 新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、拡大防止を図りつつ旅行により気分をリフレッシュできるよう、夫婦や恋人、パートナーなど大切な人と、地元から出ることなく旅行を楽しみ、今まで気付かなかった地元の良さを再発見していただく、旅行の提案です。
イベント名	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ ジモトナタビ応援キャンペーンについて（報道発表）
日　　時	2020（令和2）年8月5日（水）
場　　所	根室市観光協会
主　　催	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ

地域 No.19 2020 【情報の一元化に向けた情報収集・整理】知床ねむろ・北太平洋SBW公式SNS開設

実施内容　当地域の情報を発信することを目的に、SNSを開設した。
SNSは、利用者の多い「Facebook」、「Twitter」、「Instagram」で開設した。
Instagramでは、ジモトナタビキャンペーンでのフォトコンテスト開催に活用する等、SNSを使い分けながら、情報発信を行っている。

日　時　2020（令和2）年6月3日（木）

主　催　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ



Facebook



Instagram



Twitter

地域 No.20 2020 【情報の一元化に向けた情報収集・整理】知床ねむろ・北太平洋SBW公式HP開設

実施内容　当地域の情報を発信やドライブマップの提供、活動紹介等を目的に、HPを開設した。
fehSBW通信（ルートの英語名：Far East Hokkaido Scenic Bywayの略）として、地域の情報を配信を継続している。

主　催　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ



INFORMATION · 2021/08/15
インスタグラム投稿キャンペーン2021
北太平洋シーサイドライン ― 峠と花の霧街道 ―...
続きを読む



INFORMATION · 2021/06/15
道の駅 厚岸グルメパークが『防災道の駅』に選定されました。
国土交通省が進める防災拠点として広域的な役割を果たす「防災道の駅」が、全国の「道の駅」1193カ所の中から初めて39駅選ばれました。北海道では４カ所、知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ構成団体である道の駅...
続きを読む

fehSBW通信での地域情報の発信



観光 No.21 2020 【観光商品開発と磨き上げ】ジモトナタビ応援キャンペーン

実施内容　ジモトナタビとは「地元×大人旅」。当ルートが提案したコロナ禍における新しい旅のかたち。夫婦や恋人など、大切な人と今まで気付かなかった自然や歴史・文化など地元の良さを再発見していただく旅で、「3密を避ける」、「感染地域への移動を控える」などコロナ禍における新しい生活様式や、マイクロツーリズムなど激変する観光ニーズに対応した旅の形の提案。
あわせてInstagramを活用したフォトコンテスト、アンケート調査を実施した。

イベント名　“ジモトナタビ”応援キャンペーン

日　時　2020（令和2）年8月7日（金）～9月30日（水）

場　所　ルート内の地域
（羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町）

主　催　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
北海道根室振興局



景観 No.22 2020 継続 【フットパスの整備と維持管理】別海町ｸﾞﾘｰﾝﾂｰﾘｽﾞﾑﾈｯﾄﾜｰｸ フットパス整備

実施内容　別海町の旧標津線を活用したフットパスにおいて、点検、整備を実施した。
実施区間については、奥行臼から約3.6kmの区間で倒木の有無や草刈りが必要な箇所等を確認し、整備を実施した。
本活動においては、地域の高齢化による人材不足の課題があり、整備の活動を草刈りツアー等で商品化することで、人材の確保、交流人口の増加、収益等の波及効果が期待できる。

日　時　2020（令和2）年 9月13日（日）、10月5日（月）

場　所　別海町（旧標津線フットパス）

主　催　別海町グリーンツーリズムネットワーク

参加者数　21名（二日間延べ人数）

参加活動団体　別海町グリーンツーリズムネットワーク
酪農家集団　AB-MOBIT
伊藤畜産
根室市観光協会









観光 No.23 2020 【観光商品の開発と磨き上げ】オリジナル・エコバッグ、ボトルの開発

実施内容　当ルートのロゴやサブアイコンをあしらった「ここでしか手に入らない」商品、また、エコロジー志向に対応し、富裕層に対する魅力の向上と、環境保全と利用の両立を検討し、当ルートオリジナルのエコバック、ボトルを開発した。
アンケート調査時の粗品、インスタグラム・フォトコンテストの景品として活用している他、イベントにおいて販売を実施。常設販売については、検討中。

日　時　2020（令和2）年 9月

主　催　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ



イベント時のエコバック販売の様子





観光 No.24 2020 【観光商品の開発と磨き上げ】外国人モニターツアー開催

実施内容　活動団体の活動状況を確認し、地域の観光資源等のブラッシュアップを図ることを目的として、外国人、旅行会社、ルート審査委員の石田先生に参加いただき、モニターツアーを実施した。
今回のモニターツアーは、主に別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町の観光資源を踏まえて、ツアーメニューを検討し、観光コンテンツを体験していただきながら、意見交換も実施した。

日　時　2020（令和2）年10月1日（木）～3日（土）
場　所　別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町
主　催　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
参加者数　18名
参加活動団体　酪農家集団　AB-MOBIT
伊藤畜産
根室交通
大地みらい信用金庫
根室市観光協会
厚岸味覚ターミナル


カヌー体験



蒸留所見学


木道散策


酪農体験


フットパス体験


観光スポット立寄り


歯舞漁協との意見交換


意見交換会

観光 No.25 2020 継続 【ルート内資源で連携したツアー、イベントの開催】フットパスツアーの開催

実施内容	当ルート継続した活動であるフットパスツアーの開催。JR花咲線厚床駅集合で花咲線の利用を促進を踏まえて行程を検討するとともに、フットパスでの散策、バス移動等を組み合わせたメニューで実施した。
イベント名	旧標津線を巡る秋のフットパスツアー
日　　時	2020（令和2）年10月10日（土）
場　　所	根室市、別海町、厚岸町
主　　催	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
参加者数	28名
参加活動団体	別海町グリーンツーリズムネットワーク 酪農家集団　AB-MOBIT 根室交通 大地みらい信用金庫 根室市観光協会







観光 No.26 2020 継続 【ルート内資源で連携したツアー、イベントの開催】フットパスツアーの開催

実施内容	当ルート継続した活動であるフットパスツアーの開催。JR花咲線根室駅発で別当賀駅まで移動した後、バスによる移動等、花咲線の利用を促進を踏まえて行程、落石フットパスを散策ツアーの開催協力を実施した。
イベント名	わくわく花咲く！ふれあいレールフェス2020 花咲線開業百周年駅と絶景を巡ろう
日　　時	2020（令和2）年10月11日（日）
場　　所	根室市
主　　催	夢空間☆花咲線の会
共　　催	根室市観光協会
協　　力	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
参加者数	30名
参加活動団体	酪農家集団　AB-MOBIT 根室交通 大地みらい信用金庫 根室市観光協会





地域 No.27 2020 継続 【地域づくりのためのセミナー開催】フットパス・ロングトレイル広域化検討会セミナー

実施内容	年1回実施している「フットパス・ロングトレイル広域化検討会セミナー」を、継続して開催した。 令和2年度の開催では、講師に北海道知事認定マスターガイドの安藤誠氏を招き、『プロガイドが語る「フットパスの価値の高め方」』を題して、講演いただいた。
日　時	2020（令和2）年12月8日（火）
場　所	中標津経済センター なかまっぷ多目的ホール
主　催	根室振興局 フットパス・ロングトレイル広域化検討会
協　力	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
参加者数	30名
参加活動団体	知床羅臼フットパスクラブ、知床羅臼町観光協会、標津町観光ガイド協会、標津転車台保存会、なかしべつ体験観光ネットワーク、別海町グリーンツーリズムネットワーク、西別海道を歩こう会、中春別SL散策路、酪農家集団　AB-MOBIT、伊藤畜産、落石マリンビジョン協議会、根室交通、大地みらい信用金庫、根室市観光協会、釧路臨港鉄道の会



観光 No.28 2020 【観光商品の開発と磨き上げ】ジモトナタビ 食べて応援！キャンペーン

実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限されるなか、感染者数が減少しても、人の動きが少なく、地元の飲食店が苦境の中にいることから、地域の飲食店を再発見しようと、キャンペーンを企画し、実施した。 飲食店のメニュー写真を撮影し、インスタグラムに投稿することで、抽選で地域の特産が当たる商品付きイベント。 知る人ぞ知るようなお店も再発見でき、今後の情報発信にも役立てる。
イベント名	ジモトナタビ　食べて応援！キャンペーン
日　時	2021（令和3）年3月5日（金）～3月21日（日）
場　所	ルート内の地域 （羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町）
主　催	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ 北海道根室振興局



観光 No.29 2020 【隣接ルートと連携した観光コンテンツ造成や磨き上げ、イベントの開催】 くしろ・ねむろ・ぐるっと！スタンプラリー

実施内容	隣接する釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイが継続して実施している活動。当ルートにおいて、明郷　伊藤☆牧場をシーニックカフェと登録したことから連携を開始した。 カフェの商品を、スタンプラリーの商品として、提供した。
日　　時	2020（令和2）年7月1日（水）～10月31日（土）
場　　所	釧路、根室管内
主　　催	「くしろ・ねむろ　ぐるっと！スタンプラリー」事務局
共　　催	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ 厚岸味覚ターミナル　ほか
参加者数	スタンプラリー応募者数　816名
参加活動団体	伊藤畜産（シーニックカフェ） 厚岸味覚ターミナル



観光 No.30 2020 【冬の観光メニュー調査・開発】 冬期コンテンツ造成　モニターツアー開催

実施内容	当ルートの課題の一つである、冬の観光メニューの調査・開発における活動として、冬季コンテンツ造成を目的とし、また、Withコロナにおける旅行の在り方を見越し、体験ツアーを磨き上げ、ニューノーマル時代に合わせたターゲットシフトを行うことを目指し、モニターツアーを実施した。専門家は、アソビュー！掲載事業者の中でも高い実績を持つTRAIL ON（鳥取）の小椋氏にアクティビティを体験して頂き、改善に向けたフィードバックをいただいた。
日　　時	2021（令和3）年2月9日（火）～11日（木）
場　　所	羅臼町、別海町、根室市
主　　催	知床ねむろ観光連盟
参加者数	8名
参加活動団体	知床羅臼町観光協会 知床ねむろ観光連盟 根室市観光協会



熊越の滝スノーシュートレッキング（羅臼町）



流氷バードクルーズ（羅臼町）



氷平線ウォーク（別海町）



氷下待網漁（根室市）

全体 No.31 2020 ルート運営に関する各種会議等の開催

実施内容　ルート運営に関する各種会議等を開催した。

日　　時　2020（令和2）年6月12日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 部会長会議
2020（令和2）年7月20日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート　総会
2020（令和2）年12月8日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議
（対面、オンライン併用で実施）
2021（令和3）年1月15日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 部会長会議
2021（令和3）年3月12日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 部会長会議
（財政基盤確保に係る先進地視察含む）
2021（令和3）年3月23日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議

主　　催　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ


6月12日（根室市）


7月20日（別海町）


12月8日（中標津町、リモート併用）


1月15日（根室市）


3月12日（小樽市・視察）


3月12日（小樽市・視察）


3月12日（小樽市・視察）


3月23日（中標津町）

ルート運営代表者会議等の様子

景観 No.32 2021 継続 【清掃活動】「清掃月間」北方原生花園清掃活動

実施内容　令和3年度の清掃月間についても、昨年度と同様に4か所で実施している清掃活動のうち、根室市の1箇所のみで新型コロナウイルス感染拡大防止対策実施のうえ、実施した。

日　　時　2021（令和3）年5月9日（日）
場　　所　北方原生花園、道道35号沿道
主　　催　根室市観光協会
参加者数　55名
参加活動団体　大地みらい信用金庫
根室交通
根室市観光協会









景観 No.33 2021 【清掃活動】ジモトナタビ＋ピリカ

実施内容　新型コロナウイルス感染拡大が続いているため、人が集まっての活動が制限されており、その中でも地域の活動を検討し、人が集まらない、少人数での活動で参加できる清掃活動を提案した。ごみ拾いSNSアプリ「PIRIKA（ピリカ）」を活用して、清掃活動を行い、投稿してもらう活動を実施した。当ルートのHPやSNSで参加方法、使用方法を説明して、参加を募った。

日　時　2021（令和3）年5月13日（木）～6月13日（日）

場　所　北方原生花園、道道35号沿道

主　催　知床ねむろ・北太平洋SBW

投稿数　20件

参加活動団体　知床ねむろ・北太平洋SBW
活動団体　ほか



アプリ「PIRIKA（ピリカ）」の使い方マニュアルを作成し、HPで紹介

SNSアプリ「PIRIKA（ピリカ）」の投稿実績

月別投稿件数		清掃活動した地域等	備考
5月	8件	根室市：明郷（国道243号ほか）、落石海岸・トーチカ跡ほか 浜中町：暮帰別東 中標津町：協和、俵橋、豊岡（国道272号）	
6月	10件 うち、期間外2件	根室市：明郷（国道243号）、常磐町（国道44号）、春国岱ほか 中標津町：川西（道道883号）、俣落	実施期間外も清掃活動の投稿あり
7月	1件	根室市：道道53号	
8月	1件	中標津町：西町	
合計20件			



ルート関係者への案内、SNSを通した開催案内

景観 No.34 2021 【景観資源調査】景観調査（羅臼町、標津町、別海町）

実施内容　景観調査は、知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイの地域にある、「北海道らしい」「観光資源になる」「守りたい」など、当地域の魅力的な道路景観を、活動団体や行政（道路管理者）と共有し、今後の活動を検討するための基礎調査として実施した。
また、指定ルート登録後には、地域住民と道路管理者が協働して地域の魅力ある道路景観の維持・形成や誘客へ向けたPRを行う「秀逸な道」の取り組みを進めていくことになりますが、本景観調査が当ルートの「秀逸な道」区間設定に向けた事前調査としても実施した。

日　時　2021（令和3）年10月25日（月）

場　所　別海町、標津町、羅臼町

主　催　知床ねむろ・北太平洋SBW

参加者数　20名

参加活動団体　大地みらい信用金庫
伊藤畜産
根室市観光協会
知床羅臼町観光協会
知床羅臼フットパスクラブ
別海町グリーンツーリズムネットワーク

他参加　知床ねむろ観光連盟
羅臼町
標津町
釧路開発建設部






観光 No.35 2021 継続 【隣接ルートと連携した観光コンテンツ造成や磨き上げ、イベントの開催】
くしろ・ねむろ・ぐるっと！スタンプラリー

実施内容	隣接する釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイが継続して実施している活動。当ルートにおいて、明郷　伊藤☆牧場をシーニックカフェと登録したことから連携を開始した。 カフェの商品を、スタンプラリーの商品として、提供した。
日　　時	2021（令和3）年4月29日（木）～10月31日（日）
場　　所	釧路、根室管内
主　　催	「くしろ・ねむろ　ぐるっと！スタンプラリー」事務局
共　　催	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ 知床ねむろ・北太平洋 　シーニックバイウェイ道の駅連携協議会　ほか
参加者数	スタンプラリー応募者数　1,216名
参加活動団体	伊藤畜産（シーニックカフェ）



観光 No.36 2021 継続 【ルート内資源で連携したツアー、イベントの開催】
フットパスツアーの開催

実施内容	当ルート継続した活動であるフットパスツアーの開催。新型コロナウイルス感染症拡大について、北海道の緊急事態宣言が解除されたたため、開催した。しかしながら、感染症拡大防止のため、参加者募集を羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市に限定して実施した。
イベント名	奥行臼散策デー
日　　時	2021（令和3）年10月10日（日）
場　　所	別海町
主　　催	別海町グリーンツーリズムネットワーク 別海町教育委員会
協　　力	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
参加者数	30名
参加活動団体	別海町グリーンツーリズムネットワーク 酪農家集団　AB-MOBIT



景観 No.37 2021 【清掃活動】釧路・根室地域『道の駅』クリーンアップ大作戦2021秋の陣

実施内容	「釧路・根室地域『道の駅』連携会議」が主催する道の駅での清掃活動について、当ルートの活動団体に呼び掛けて参加した。当ルートには、羅臼町、別海町、根室市、厚岸町に4つの道の駅があり、今回は、別海町の道の駅おだいとうの清掃活動に参加した。
日　　時	2021（令和3）年10月25日（月）
場　　所	道の駅おだいとう（別海町）
主　　催	釧路・根室地域『道の駅』連携会議
参加者数	20名
参加活動団体	大地みらい信用金庫 伊藤畜産 根室市観光協会 知床羅臼フットパスクラブ 別海町グリーンツーリズムネットワーク









観光 No.38 2021 【情報の発信】HPの更新：牛乳の消費拡大推進

実施内容	当ルートがある根室・釧路地域の牛乳の消費拡大を推進するため、民間団体や行政と連携して、当ルートのホームページに掲載し、情報発信を行った。
掲載内容	・酪農家集団AB-MOBIT　制作 「飲んで応援！ 地元で購入できる酪農王国 根室・釧路生まれの牛乳」 ・釧路＆根室振興局ソフトクリームの会　制作 「根釧ソフトクリームマップ」 ・釧路総合振興局、根室振興局 及び北海道農政事務所地域拠点　制作 「根釧チーズマップ」
主　　催	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ





観光 No.39 2021 【インバウンド向けの観光情報の整理、発信】HPの更新：英語表記追加（インバウンド対応）

実施内容

fehSBWホームページの６ルート紹介ページに英訳文を追加表記。インバウンドで訪れる外国人観光客が利用しやすいようにした。

主　催

知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ





地域 No.40 2021 継続 【地域づくりのためのセミナー開催】フットパスセミナーの開催

実施内容

年1回実施している「フットパス・ロングトレイル広域化検討会セミナー」を、継続して開催した。
令和3年度の開催では、講師に専修大学経済学部の泉留維氏を招き、『日本風景街道とフットパス』と題して、講演いただいた。

日　時　2022（令和4）年3月8日（火）

場　所　オンライン

主　催　根室振興局

協　力　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ

参加者数　41名

参加活動団体　知床羅臼フットパスクラブ、知床羅臼町観光協会、標津町観光ガイド協会、標津転車台保存会、なかしべつ体験観光ネットワーク、別海町グリーンツーリズムネットワーク、酪農家集団　AB-MOBIT、伊藤畜産、落石マリンビジョン協議会、根室交通、大地みらい信用金庫、根室市観光協会、釧路臨港鉄道の会



地域 No.41 2021 【観光商品の開発と磨き上げ】公益財団法人日本野鳥の会「プチ北海道物産展」への協力

実施内容　当ルートに相談があり「ジモトナタビ特産品」の協力を行った。
新型コロナウィルスがなければ、今頃バードウォッチングの聖地「北海道」で鳥見を満喫しているはずだったのに…。そこで、少しでも「北海道気分」が味わえないか考え、出てきたアイディアが、「プチ北海道物産展」。公益財団法人日本野鳥の会事務局で開催される「コ・トリの市」「双眼鏡望遠鏡体験会」に合わせて実施されました。



日　時　2021（令和3）年
6月26日（土）
7月　3日（土）、10日（土）、
17日（土）、31日（土）





場　所　公益財団法人
日本野鳥の会事務局
（東京都品川区）

主　催　公益財団法人
日本野鳥の会

協　力　知床ねむろ・北太平洋
シーニックバイウェイ

観光 No.42 2021 【情報の発信】第1回 日本観光ショーケースin 大阪・関西出展

実施内容　コロナ禍で多くの観光PRイベントが中止されるなか、日本全国の魅力ある街、団体、サービスが数多く出展するリアル開催となり、そのなかで知床ねむろ地域の野生生物体験観光のPRや当ルート6つのモデルコースを掲載したパンフレットの配布などを行った。

日　時　2022（令和4）年3月25日（金）～27日（日）

場　所　インテックス大阪（大阪府大阪市）

主　催　「日本観光ショーケース in 大阪・関西」
実行委員会

参加活動団体　知床ねむろ観光連盟、
知床羅臼町観光協会、
根室市観光協会







全体 No.43 2021 ルート運営に関する各種会議等の開催

実施内容　ルート運営に関する各種会議等を開催した。

日　　時　2021（令和3）年4月22日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 部会長会議
2021（令和3）年8月23日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 事務局会議
2021（令和3）年10月7日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 事務局会議
2022（令和4）年1月14日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 部会長会議
2022（令和4）年3月30日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 事務局会議
※コロナ禍のため、人数が多くなる総会、事務局会議、部会長会議の開催にとどめ実施した。

主　　催　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ


4月22日（根室市）


8月23日（根室市）


10月7日（根室市）


1月14日（根室市）

ルート部会長会議等の様子

観光 No.44 2022 【隣接ルートと連携した観光コンテンツ造成や磨き上げ、イベントの開催】知床半島・根室地域サイクルミーティング

実施内容　知床、根室地域の自然資源と道東3空港をつないだサイクルツーリズムの可能性や、すでに進められているフットパスとの連携などさまざまな話題提供やパネルディスカッションが行われた。
当ルートは共催団体として参加し、伊藤事務局長がパネリストとして登壇した。また、隣接する東オホーツクルートの代表や活動団体などと交流できた。
さらに、当ルートでのサイクルツーリズムの可能性について主催者、登壇者と意見交換や現地視察を行った。



日　　時　2022（令和4）年 4月23日（土）、24日（日）

場　　所　標津町生涯学習センターあすぱる（標津町）・オンライン配信

主　　催　一般社団法人　北海道開発技術センター

参加者数　現地参加　17名、オンライン参加　20名　合計37名

参加活動団体　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
NPO法人　自然・文化遺産保存活用ネット






景観 No.45 2022 継続 【清掃活動】釧路・根室地域『道の駅』クリーンアップ大作戦2022春の陣

実施内容	「釧路・根室地域『道の駅』連携会議」が主催する道の駅での清掃活動について、当ルートの活動団体に呼び掛けて参加した。当ルートには、羅臼町、別海町、根室市、厚岸町に4つの道の駅があり、今回は、別海町の道の駅おだいとうの清掃活動に参加した。
日　　時	2022（令和4）年4月25日（月）
場　　所	道の駅おだいとう（別海町）
主　　催	釧路・根室地域『道の駅』連携会議
参加者数	20名
参加活動団体	大地みらい信用金庫、伊藤畜産、 根室市観光協会、知床羅臼町観光協会、 知床羅臼フットパスクラブ、 別海町グリーンツーリズムネットワーク、 知床ねむろ・北太平洋 　シーニックバイウェイ道の駅連携協議会　ほか









景観 No.46 2022 継続 【清掃活動】ジモトナタビ＋ピリカ

実施内容	令和3年度より実施しているコロナ禍における密にならない清掃活動を継続。ごみ拾いSNSアプリ「PIRIKA（ピリカ）」を活用して、清掃活動を行い、投稿してもらう活動を実施した。当ルートのHPやSNSで参加方法、使用方法を説明して、参加を募った。
日　　時	2022（令和4）年5月1日（日）～5月31日（火）
場　　所	ルート管内
主　　催	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
投 稿 数	4件
参加活動団体	知床ねむろ・北太平洋SBW 活動団体　ほか



投稿画面



ルート関係者への案内、SNSを通した開催案内

観光 No.47 2022 継続 【隣接ルートと連携した観光コンテンツ造成や磨き上げ、イベントの開催】
くしろ・ねむろ・ぐるっと！スタンプラリー

実施内容	隣接する釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイが継続して実施している活動。当ルートにおいて、明郷　伊藤☆牧場をシーニックカフェと登録したことから連携を開始した。 カフェの商品を、スタンプラリーの商品として、提供した。
日　　時	2021（令和3）年4月29日（金・祝日） ～10月31日（月）
場　　所	釧路、根室管内
主　　催	「くしろ・ねむろ　ぐるっと！スタンプラリー」事務局
共　　催	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ 知床ねむろ・北太平洋 　シーニックバイウェイ道の駅連携協議会　ほか
参加活動団体	伊藤畜産（シーニックカフェ）



景観 No.48 2022 継続 【清掃活動】
「清掃月間」北方原生花園清掃活動

実施内容	根室市にある北方原生花園では、湿原、原生花園の環境保全及び観光地の美化を目的とした清掃活動を観光シーズン入り直前の毎年5月に継続して実施している。 清掃活動は、整備されている木道や駐車帯、沿道において実施し、根室地域でみられる馬の放牧地の景観保全にもなっている。 当ルートでは、活動団体への周知を行うとともに、参加者を募り、参加した。
日　　時	2022（令和4）年5月28日（日）
場　　所	北方原生花園、道道35号沿道
主　　催	根室市観光協会
参加者数	25名
参加活動団体	根室交通株式会社 根室市観光協会









景観 No.49 2022 【清掃活動】峯浜パーキングでの清掃＆剪定活動の検討

実施内容	羅臼町を通る国道335号にある峯浜パーキング（ビューポイントパーキング）において今後継続した清掃活動、街路樹の剪定活動を実施することを目的として、地域と道路管理者が現地確認を行い、実施内容について検討を行った。
日　　時	2022（令和4）年6月14日（火）
場　　所	羅臼町、国道335号沿道　峯浜パーキング
主　　催	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
参加者数	10名
参加活動団体	知床羅臼フットパスクラブ 知床羅臼町観光協会 伊藤畜産 根室市観光協会 厚岸味覚ターミナル
行政機関等	釧路開発建設部中標津道路事務所 ㈱ヨシダ造園緑化




剪定方法等の指導状況
（右：モンタナハイマツ、左：イタヤカエデ）



打合せ状況



設置看板の確認



景観の状況

景観 No.50 2022 【フットパスの整備と維持管理】知床羅臼フットパスの試行

実施内容	フットパスの新たな整備を目的として、羅臼町の海岸線を歩くフットパスの試行を行った。 試行の結果、岩場や砂等、歩きにくい部分もあるが、知床半島や北方領土、根室海峡を眺めながら歩くことができる環境は、この地域でしか体験するすることのできない地域資源であることが分かった。また、地層や鉱山跡など、地域の歴史に触れることもでき、ガイド育成等、説明を行うことで、地域の歴史的な特色等についても楽しんでいただくことが可能と考えられる。
日　　時	2022（令和4）年6月14日（火）
場　　所	羅臼町峯浜町から幌萌町（約4km）
主　　催	知床羅臼フットパスクラブ
参加者数	11名
参加活動団体	知床羅臼フットパスクラブ 知床羅臼町観光協会 根室市観光協会
行政機関等	羅臼町








地域 No.51 2022 【地域づくりのためのセミナー開催】JR花咲線利用促進講演会の開催

実施内容　利用客数が減少傾向にあるJR花咲線の利用促進を図ることを目的として、JR花咲線利用促進講演会を実施した。講師に元JR北海道旅客鉄道株式会社　取締役釧路支社長の瀬川修一氏を迎えて、「観光する鉄道　花咲線」と題して、講演いただいた。

日　時　2022（令和4）年 7月3日（日）

場　所　イーストハーバーホテル（根室市）

主　催　酪農家集団AB-MOBIT

後　援　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ

参加者数　現地参加　27名、オンライン参加　20名　合計37名

参加活動団体　酪農家集団AB-MOBIT
伊藤畜産
根室市観光協会
厚岸味覚ターミナル
釧路臨港鉄道の会








観光 No.52 2022 【観光商品の開発と磨き上げ】フットパスでのマウンテンバイク活用の試行

実施内容　地域にある既存の観光資源であるフットパスでのマウンテンバイクの活用を検討するため、根室市のレンタサイクルを活用し、別当賀パスで試行を実施した。
根室市のレンタサイクルは、大人用、子供用を合わせて40台ある。
一部、急こう配の地形もあるが、マウンテンバイクでの走行は可能で、のんびり楽しめることを確認した。上りは、自転車をおして、フットパスをすることも良いと考えられる。

日　時　2022（令和4）年7月4日（月）

場　所　根室市　別当賀パス

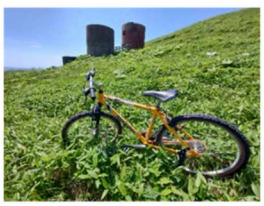
主　催　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ

参加者数　3名

参加活動団体　酪農家集団AB-MOBIT
伊藤畜産







景観 No.53 2022 【清掃活動】別保原野パーキングでの清掃活動

実施内容　釧路町を通る国道44号にある別保原野パーキングは、ゴミのポイ捨てが多く、捨てさせない対策の検討が必要と考え、まず初めに清掃活動や除草を実施した。



日　　時　2022（令和4）年7月8日（金）
場　　所　釧路町、国道44号沿道　別保原野パーキング
主　　催　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
参加者数　19名
参加活動団体　伊藤畜産
根室市観光協会
釧路町観光協会
行政機関等　釧路開発建設部、
釧路開発建設部釧路道路事務所、
北海道釧路総合振興局、
釧路町







清掃前後の様子（左：活動前、右：活動後）




清掃・除草前後の様子（左：活動前、右：活動後）

景観 No.54 2022 【景観資源調査】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ景観診断への参加

実施内容　今後、ルートでの景観調査を実施する上で、参考とするため、隣接するシーニックバイウェイルート「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルートが実施する景観診断調査に参加した。




日　　時　2022（令和4）年7月21日（木）
場　　所　中標津町、標茶町
主　　催　釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
参加者数　23名
参加活動団体　根室市観光協会










観光 No.55 2022 【ルート内資源での連携したツアー、イベントの開催】
花咲線 魅力発見！ちょっと寄り道旅キャンペーン、花咲線いっしょに寄り道旅の開催協力

実施内容	JR花咲線の普及・利用促進を図るため、途中下車による滞在時間の増加を目的とした地域の活動団体が実施するキャンペーンやイベントに協力した。
イベント名	花咲線 魅力発見！ちょっと寄り道旅キャンペーン
日　　時	2022（令和4）年7月16日（土）～9月19日（火）
イベント名	花咲線いっしょに寄り道旅
日　　時	2022（令和4）年8月7日（日）、9月11日（日）
場　　所	根室市、浜中町、厚岸町、釧路町
主　　催	夢空間☆花咲線の会
協　　力	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ





キャンペーン概要

キャンペーンで指定した３つのカテゴリー『寄り道旅部門』、『駅・駅周辺部門』、『車窓・車内部門』のお題を、それぞれ１つ、合計３つの写真や動画に収め、花咲線 魅力発見！ちょっと寄り道旅インスタグラムアカウント『hanasakiroundtrip』のフォロー。ハッシュタグ『#頑張ろう花咲線』をつけて投稿（まとめてでも個別でもOK）すると、抽選で20名様に当キャンペーンオリジナルグッズをプレゼントします。応募要領をご確認のうえ、ご参加ください。



キャンペーン応募期間

2022年7月16日（土）～9月19日（火）

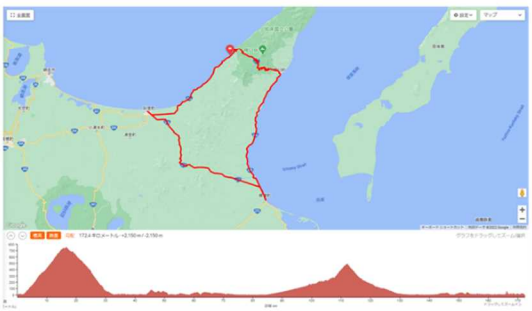
PDF





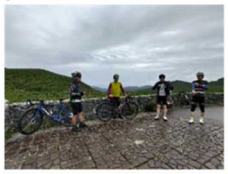
観光 No.56 2022 【隣接ルートと連携した観光コンテンツ造成や磨き上げ、イベントの開催】
知床半島サイクリングの試走

実施内容	世界遺産知床で隣接するルートの東オホーツクシーニックバイウェイルートと連携して、サイクルツーリズムでの観光コンテンツの造成を目的とした試走調査を実施した。 試行は、斜里町ウトロをスタートとし、知床峠経由で標津町、標津町から根北峠経由で斜里町ウトロまでの1泊2日の行程で、有識者（北見工業大学　高橋清先生）、ガイド（知床サイクリングサポート　西原氏）にも参加いただき、実施した。
日　　時	2022（令和4）年 8月31日（水）、9月1日（木）
場　　所	羅臼町、標津町、斜里町
主　　催	北海道エコ・モビリティ研究会 （事務局：北海道開発技術センター）
共　　催	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ 東オホーツクシーニックバイウェイ
参加者数	サイクル ガイド　西原 氏（知床サイクリングサポート） 有識者　高橋 清 氏（北見工業大学） 原　文宏 氏（シーニックバイウェイ支援センター） 地域参加者　5名　　合計8名 サポートカー（2台　3名）
参加活動団体	NPO法人 自然・文化遺産保存活用ネット 根室市観光協会









全体 No.57 2022 ルート運営に関する各種会議等の開催

実施内容　ルート運営に関する各種会議等を開催した。

日　　時　2022（令和4）年4月13日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 事務局会議
2022（令和4）年5月20日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 部会長会議
2022（令和4）年6月21日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 総会
（対面、オンライン併用で実施）
2022（令和4）年8月3日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 事務局会議
2022（令和4）年8月22日：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート 部会長会議

主　　催　知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ



4月13日（根室市）





6月21日（標津町）

ルート総会等の様子